千瓢

The Senpyo

富山県立大学同窓会機関誌
第13号

発行日．2018年(平成30年)6月1日
発　行．富山県立大学同窓会 会長 野開勝政
編　集．「千瓢」編集部［編集長 池上 勁，編集員 炭谷 優子］
住　所．〒939-0398 富山県射水市黒河 富山県立大学内
電　話．0766-56-7500　FAX．0766-56-0396
メール．senpyokai@pu-toyama.ac.jp
ＵＲＬ．http://tpu-dosokai.jp/

特集　新校舎設立に向けて

進化を続ける母校

前同窓会会長　荒木　甫

またまた拙文をしたためることとなってしまったが、年齢の為せる業というかどうしても古い話からスタートをしてしまうことをお許しいただきたい。

昭和37年(1962年)に産声をあげた大谷技術短大、その志を受け継ぎながら平成2年（1990年）に新たに開学した富山県立大学…太閤山に大学のキャンパスが出来てから56年の歳月が経ったことになる。

自分は昭和38年の入学であるので、学生・同窓生として55年間…このうち同窓会の役員として(若干記憶は曖昧であるが）48年余…また昭和45年に太閤山に住居を構えたことから地域住民としても47年余に亘って大学を内から外から眺めさせていただいて来た。

いま大学では、環境工学科（旧短大棟に在籍）と生物工学科の中に平成29年に新しく設けられた医薬品工学科そして平成31年に開設予定の看護学部の学生のため、更に既存の学科の定員を増加したことに対処するための新しいキャンパスの建設の槌音が大きく響いている。

昭和38年当時の「機械科」「農業機械科」「応用数学科」「衛生工学科」「草農学科」の5科が在籍した時の南北に並行して建てられた4階建ての校舎（当時は太閤山丘陵にそびえる白亜の殿堂の呼称がピッタリであったが…）も今は新しい4階建て7階建ての校舎に埋もれてしまっていて正門からの訪問ではその存在さえ窺い知ることが出来ない。

北門（北側交差点側の入口）から向かえば左側に大谷講堂、右側に懐かしい短大棟を見ることが出来るが、新しいキャンパスが完成し環境工学科がそちらに移ればこの情景もいずれは消えてしまう運命にある。とはいえ大谷講堂は耐震補強も行われ、これ

新棟完成イメージ図

目次

1　特集　新校舎設立に向けて
　　進化を続ける母校　荒木　甫
3　新しい富山県立大学へ
4　**インタビュー　星川　圭介　准教授**
6　研究室の近況案内
　　知的センシング工学講座／微生物工学講座／製薬化学工学講座
　　情報基盤工学講座／社会基盤工学講座／材料設計加工学講座
8　はてなクイズ
9　集まってます　樋口　清美
10　エトワール会参加報告　須田　正樹
11　この数字をご存知ですか？
12　探しています（会員住所不明者の一覧）
17　大学ニュース
17　同窓会日誌
18　私の好きなもの　山村　浩三／松田　九十九／荒木　龍憲
19　ありがとうございます（広告掲載企業一覧）
20　「ポートランド州立大学語学研修」報告書
　　中谷　俊介／四津谷　瞭／水井　研登
22　この一年を振り返って　野開勝政同窓会会長
23　平成29年度同窓会総会・懇親会報告　宇於崎　秀夫
24　地元活性化に取り組む「薪の音」オーナー 山本 誠一さん
25　干し柿 DVD ブックの制作　林　節男
26　3冊の本　中　哲裕／柞山　明／松浦　芳美
27　声
28　平成30年度同窓会総会のお知らせ
28　編集後記

題字は浦野泰子さんにたのみました。浦野さんは富山県立大谷技術短期大学の応用数学科の1期生です。

荒木　甫（あらき　はじめ）

昭和40年　富山県立大谷技術短期大学衛生工学科第１回卒業
昭和43年　大阪工業大学土木工学科編入卒業
昭和43年　県職員勤務
平成16年　県職員定年退職
平成16年　初代富山県立大学同窓会会長就任
平成26年　富山県立大学同窓会会長退任（顧問）
現　　在　(株)中部設計 特別顧問・(株)吉田組 相談役

からも存続することと、茶室の「千瓢」もおそらく残るのではないか…と思われるのが幾ばくかの慰めである。

ちょっとナーバスになってしまったがこれから本題に入ることとしたい。先に新しいキャンパスのくだりで少し書いたがもう少し詳しく解説することとする。

短期大学時代においても、昭和45年には農林土木科の新設、応用数学科の専攻科の開設、また昭和55年には草農業科から農学科への名称変更もあったし、県立大学になってからは工学部（機械システム工学科・電子情報工学科）と短期大学部（農業技術学科生物生産専攻・農業技術学科農業土木専攻・環境工学科）の２学部４学科でスタートをし、２年後には生物工学研究センターの設置、４年後の各科大学院の設置、さらにその２年後には大学院博士課程の設置、平成10年には短期大学部の専攻科の設置、平成15年には短期大学部の２学科を生物資源学科と環境システム工学科に改編、平成18年には新たに知能デザイン工学科・情報システム工学科・生物工学科の３学科、平成21年には環境工学科を設置、そして平成24年には短期大学部の閉学を迎え、工学部のみの単科大学となるなど時代の変化・要求を受けながらたゆみのない進化を遂げて来てはいた。

しかしながらこれからが素晴らしい。

平成27年に公立大学法人となったことは皆さんの記憶に新しいことだろうと思うが法人となった後の取り組みには目を見張るものがある。

平成28年度の工学部入学生から既存の学科の「機械システム工学科」では定員50名を60名に、「知能デザイン工学科」においても定員50名を60名にするとともにロボット関連分野を強化したことから平成30年に名称も「知能ロボット工学科」に変更。

「情報システム工学科」においては、電気・電子系を強化したことから平成30年から名称を「電子･情報工学科」に変更するとともに定員も50名から80名に、また「環境工学科」においては社会基盤系を強化したことから名称を「環境・社会基盤工学科」に変更し定員を40名から55名に増員。

「生物工学科」については従来の生物工学科の定員40名のほかにバイオ医薬製剤技術等の習得を目指した定員35名の「医薬品工学科」の新設をみた。

またこれまでの工学部のほかに全く新しい学部として「看護学部」の開設が平成31年の４月に予定されている。

これは県の看護士の養成施設として県立総合衛生学院（定員100名）が存在するが、同じ高等教育を実施する機関としての統一性から県立大学のなかに定員120名の「看護学部」として位置付けることとなったものでこれをもって「工学部」と「看護学部」の２学部制となり、定員も450名を数えることとなる。

総合大学には及ばないものの大学院生を加えれば1,900名に近い学生が集う一大キャンパスが存在することとなるのである。

県立大学となってからの施設の拡充・拡大も素晴らしく、建物・研究設備は当然のこととして農場・グラウンド・テニスコートなどなど、東側は県道小杉・婦中線（通称黒河街道）南側は富山戸出・小矢部線（通称小矢部線）西側は県道太閤山･戸破線（通称県立大学前の道）（北側は住宅地）に囲まれる広大なキャンパスを有している。

教育の内容といい、施設といい、まさしく隔世の感があるが、建学の理念の中に昔と変らぬ「富山県の発展をめざした県民の大学」とあることにホッともし、散歩がてら孫を見る爺さんの眼差しで母校県立大学の成長を見守っている今日この頃である。

緑を育み、未来へつなぐ
株式会社サカエグリーン
SAKAE GREEN CORP.
代表取締役　山本　栄
〒930-0171　富山県富山市野々上150番地
TEL（076）434－0036
FAX（076）434－4968
HP http://www.sakaegreen.com/
サカエグリーンはカターレ富山を応援しています

ゆたかな経験　確かな技術
総合建設業
中越興業株式会社
CHUETSU
代表取締役　山下　博
本社　富山県南砺市野口800番地　TEL（0763）62-1221
富山支店・岐阜営業所　FAX（0763）62-1222

総合建設コンサルタント
北建コンサル株式会社
KITAKEN
測量・調査・設計・補償
代表取締役社長　鷲北慎一
本　　社：〒933-0941
高岡市内免３丁目３-６
TEL:(0766)23-3666(代)　FAX:(0766)23-3987
支店／射水・南砺・東部・小矢部・氷見・金沢

新しい富山県立大学へ

2018 年の 1 月 28 日富山県立大学の新棟新築工事の安全祈願祭と起工式が大学敷地内で行われ、2020 年 4 月の供用開始に向けて工事が始まった。新棟は鉄筋地上 9 階地下 1 階で高さが 42 メートル、学生会館は木造 2 階建てで県産材を使用している。新棟の延べ床面積は19,725㎡、学生会館は 900 ㎡、概算整備費は 82 億円。新しい大学について概要をお知らせします。

✻4 つの基本方針

平成３０年度には６学科になり、平成３１年度からは看護学部も新設されるため、学部拡充と学生数の増加等に対応するために新たな校舎と学生会館を建てることになった。

その整備の基本方針は、1 魅力的なキャンパスづくり（県内外の学生から選ばれる魅力的な大学）、2 学生を大きく伸ばす学びの場づくり（主体的な学習や課題解決学習の推進）、3 地（知）の拠点としての大学づくり（先端的な研究や企業との共同研究の推進）、4 地域に開かれた潤いのある環境づくり（太閤池周辺の緑の場を活かした交流の場）の4つです。

✻地域のランドマーク

先ず目を引くのは、高さ４２メートルの新校舎、建物外周部のメンテナンスバルコニーには富山の地場産業でつくるアルミスクリーンを設置して富山らしさを演出する。色は高岡の伝統産業に使われる銅とアルミのシルバーの二色を組み合わせる。

東西の軸線「キャンパスプロムナード」はガラススクリーンにして、西側の県道から見て、一目でわかる大学のエントランスゲートになる。

特に注目すべきは、吹き抜けホールで６階までの吹き抜けで廻廊があり周りが見渡せ、また自然採光や自然通風で快適な教育環境が生み出せる。

低層部は、既存棟の色彩と一体感を持たせ、全体の調和を図っている。高層部はコンパクトな「コの字型」で、既存棟との圧迫感を抑えたデザインになっている。

全体の構成は１Ｆオープンラボ、地域連携センター、実験室、２Ｆは講義室、３Ｆは教養教育、４Ｆは機械システム工学科、知能デザイン工学科、５Ｆは電子・情報工学科、６Ｆは環境・社会基盤工学科、７Ｆは医薬品工学科、環境・社会基盤工学科、８Ｆと９Ｆは医薬品工学科です。

起工式・石井県知事

✻4 つの軸線

４つの軸線で、学生と教員の交流ができる。先ず「アカデミックモール」は新棟の吹き抜け空間を南北に貫き、アクティブラーニングスペース、オープンラボ、地域連携センター、大講義室学生会館へとつながる。お互いの様子が見える廻廊で学習・研究

富山県立大学の拡充計画『地域に貢献する、より魅力ある大学へ！』

2015.4(H27)「公立大学法人化」 → 2017.4(H29) → 2018.4(H30) → 2019.4(H31) → 2020.4

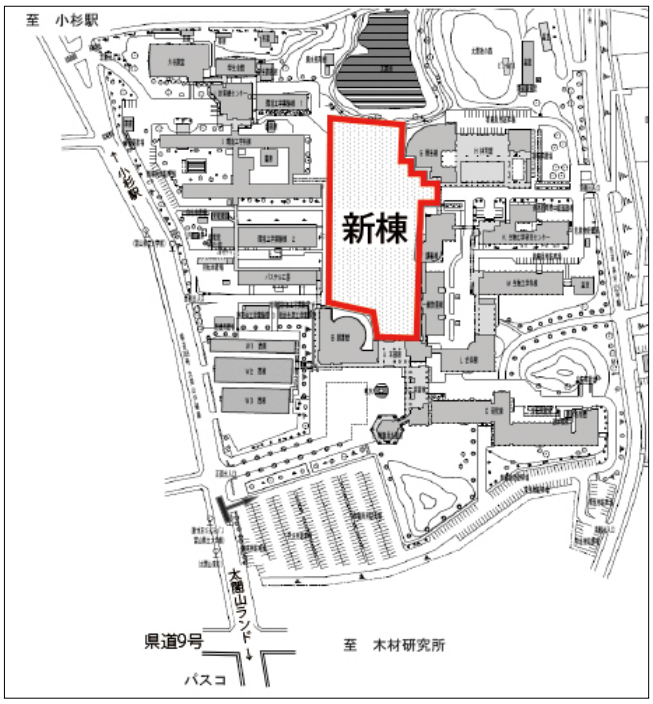
工学部

機械システム工学科（定員 50）	→	定員 60 名 (H28.4 ～)（複合材料分野強化）
知能デザイン工学科（定員 50）	→	定員 60 名 (H28.4 ～)（ロボット関連分野強化） → 知能ロボット工学科 定員 60 名
情報システム工学科（定員 50）	→	電子・情報工学科（電気・電子系強化）定員 80 名
環境工学科（定員 40）	→	環境・社会基盤工学科（社会基盤系等強化）定員 55 名
生物工学科（定員 40）	→	生物工学科 定員 40 名
	→	医薬品工学科 定員 35 名 バイオ医薬・製剤技術等 新

ドンドン マスマス 富山県立大学
学生たちの未来や可能性を**ドンドン**広げ、地域や社会に**マスマス**貢献する富山県立大学へ

大学施設の充実
- 魅力ある 9 階建て校舎建設
- 平成 31 年 4 月「看護学部」開設（予定）
  - ■県立総合衛生学院 ⇨ 県立大学看護学部
  - ■入学定員（現在 100 名）⇨ 120 名

入学定員 230 名 → 入学定員 330 名 → 入学定員 450 名
法人化後2年で**100名増**　　法人化時の**概ね2倍**に！



新棟位置図

の交流空間を構成する。「キャンパススパイン」は本部棟から太閤池に向かう軸線で、新棟のラーニングコモンズやテラス等と接続した学生・教員の交流空間になっている。「キャンパスプロムナード」はキャンパスの顔となる新棟を東西に貫く軸線で、新旧キャンパスを一体化する。「創設のプロムナード」は大谷講堂から学生会館、太閤池、食堂、体育館をつなぐ軸線で、学生の快適なキャンパスライフを支える。

★利便性・快適性に配慮した設計

低層部は地域に開かれた、産学官が一体として利用する空間になっている。1階は大講義室、アクティブラーニング、ラーニングコモンズ、オープンラボ、実験室、学生会館、2階は講義室になっている。低層部から高層部は専門性の高い研究、実験ゾーン、各階の中央コア部にはコピーやメールボックス等の事務用品を配置している。既存棟への圧迫感を軽減するために、南側は2階までの低層にして、東側は「コの字型」分割された形状にしている。北側の大講義室は太閤池周辺が見渡せて、安らぎを感じられる。約42メートルの高い建物であるので、高層部の揺れなどを考えた免震構造になっている。

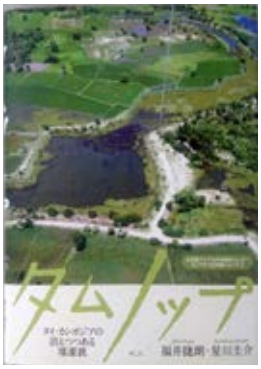
★木造の学生会館

富山県産の木材を使用した学生会館は、太閤池周辺の緑と融和して快適な空間を作り出す。壁面、天井面の仕上げ材、構造材に県産材を使用する。学生会館ホールは2階吹き抜けの12角形、全方向から光が入る。内部は木の香が感じられる。学生会館には、学生だけでなく大学を利用する人にとって、安らぎを感じられる憩いの場となるように太閤池に面してテラスを設ける。

環境・社会基盤工学科

星川　圭介（ほしかわ けいすけ）准教授

安心して暮らせるために 地球規模から地元密着の問題まで



星川圭介さんの研究のスタートは「タムノップ」です。「タムノップ」といっても分からないと思いますが堰（せき）の名前です。東北タイ、西北カンボジアの村々にある河川水を水田に導くために流路を締め切る土堤です。普通、堰の上面は常に両側より低く、必要以上の水量は堰を超えるか堰に設けられた水門などを通って下流に放流される。「タムノップ」は上面まですべて土盛りのために越流をさせない、水を遮断するため、全流量を堰き止めてします。何故こんなに全部堰き止めてしまう堰があるのか、その役割はなんなのかを探るために、現地を訪れて研究をした。

その研究のために星川さんは3つの方向でアタッチした。先ず初めに、現地タイやカンボジアへ行き、「タムノップ」の写真を撮ったり、地形図で堰き止められた状態やその影響を調べたり、2番目は村の長老等の関係者への聞き取り調査です。3番目はタイの「19世紀前半の地方行政文書」で「タムノップ」関係の220文書を精査した。

「タムノップ」の研究では川の全体を理解するために空撮写真が必要になり、凧を使って撮影した。今ならドローンで撮影するとこだが、その当時ドローンはまだ一般的でなく大変な作業だったと振り返る。

タイの長老や関係者からの聞き取りで「タムノップ」が普及したのはタイの僧侶が関係しているようだ。タイでは大変尊敬されている僧侶が各地をまわって説教や布教に歩いていてその合間に「タムノップ」の伝播に影響を与えたようだ。

タイ語で書かれた行政文書を読み解くと、「タムノップ」を作る労働者についての記述があり、ある村の労働者は頑固でずるく、監督の目を盗んですぐ何処かへ行くとか、ある監督はほとんどこないが、ある監督は毎日来てくれたので速く作業が終わったとか、作業の実態が分かった。この文書は研究にも役だったが、タイの庶民生活誌としても大変面白く、

読みふけることもあった。

「タムノップ」は水を全部止めるため、多くの水が流れると水は越えたり脇へ流れたりしてその地域全体を灌漑（かんがい）する。ユニークなのは貯水を伴わずに間欠的河川から増水時に取水して灌漑する点です。ある面ではルーズで計画的ではないが大雑把に灌漑する方法でもある。タイのこの地方では付近の果物等、食べるものが身近に有り、それが生活のセイフティネットになり、灌漑がうまくいかなくても何とかなるために、生活の知恵として「タムノップ」が続いてきたのではと推測される。研究成果を『タムノップ－タイ・カンボジアの消えつつある堰灌漑』（めこん・福井捷朗共著・2009）として出版した。

最近取り組んでいるのは、2011 年にタイを襲った大洪水の研究です。リモートセンシングの技法を用いている。タイの洪水はあまり落差のない地形に水が浸入してくるため､多くの地域で被害が起こる。それを航空写真の解析や現地の人の聞き取り調査を加味して原因解明に活かしている。

カンボジアではトンレサップ湖の水質汚染の問題を調べている｡ポルポト時代はきれいだった水質が、生活排水や農薬の使用で水質汚染が始まった。それを航空写真で調べている。色の変化を調べ水質悪化の要因を解析している。これは「地球規模課題対応国際技術協力プログラム」の一環として取り組んでいる。

国際的な研究の傍ら、地元の町づくりにも協力している。富山県と協力して城端西町商店街の町づくりのお手伝いをしている。城端地区は北陸自動車道ができ、他地区にお客さんが流れているという危機感から町づくりに取り組んでいる。

地元の人の率直な意見を聞くために、商店街を利用している人に対するアンケート調査を行った。アンケート内容は学内の協力と地元の商店街の人との話し合いで決定した。先ず驚かされたのは、アンケートの回収率の高さ、城端地区 770 世帯に「地域指定郵便」で配布､回収は 381 世帯で約 50％だった。地域住民の方の商店街に対する期待の高さを感じられた。調査結果は 60 代の男性、70 代以上の女性からの回答が一番多く、商店街への移動手段は徒歩が最も多い、日常の移動手段は車だが商店街へは徒歩が多い。商店街の利用状況は利用する人と利用しない人の 2 極化がある。商店街を利用する人は「交通手段・雰囲気・接客」などでは満足度が高いが、「品揃え・価格」についての満足度は低い。利用しない人の理由は「同じ商品が大型店舗でも買える」が多かった。アンケートでは自由記述の欄を設けたが、多くの人が答えてくれた。「休日でも営業していて、友人と気軽に食事ができるお店があれば良いと思います」「喫茶店、そば･うどん屋、パン屋･百均」や、あの店がなくなり弱っているとか､生の声が聞けた。多くの人、特に高齢の方にとっては必要な商店街だと言うことがわかった。

アンケート結果を商店街の人にお示しして、話し合ってこれからの方向性などを決めた。今回のアンケートの結果は、ほかの地区での町づくりにも生かせると思う。

城端の街並み

今回の調査に参加したゼミの生徒が城端に興味を持ち、個別商店の魅力や来店の動機など研究して数値的に各お店の調査ができないかと調べ始めていて、そのような課題に興味を示す生徒が出てきたことは、教育的にもこの調査は意義があったように思える。

地元、小杉の「金山地区里山の会」から里山の再生の相談を受けている。木の伐採を計画的に行い、特産品のキノコを生かした里山の再生ができないかと会の人と話を進めている。

星川先生の研究は地球規模の研究から地元に密着した研究まで多岐に及んでいる。人口減少など急速に変わる中で、安心して暮らせるために、空間情報の解析や計測を用いて多くの問題を解決するために取り組んでいる。町づくり、農業、防災、幅広い分野で長期的な変化を重視してリモートセンシングの技術を活かして、空中写真や古地図などを解析している。

インタビューを終えて

「タムノップ」の調査で凧を利用して航空写真を撮り、見せて頂いた写真には凧の糸が一緒に写っていた。その時の苦労が分かり脱帽。インタビューを終えて研究室を出るとき隅のスーツケースに多くの国のワッペンが貼ってあり、これからもこのスーツケースが先生と共に旅を続けて研究が続くと思うと、＜がんばれ＞と声をかけたくなった。

（池上勁）

※リモートセンシング（対象を遠隔から測定する手段で、人工衛星や航空機から地球表面を観測する技術）

スーツケース

ガンコなこだわり！
マルタカハウス 家
丸高木材株式会社の
MARUTAKA
専務取締役　一級建築士
片　境　清　久
（昭和 61 年 衛生工学科卒）
〈本　社〉〒934-0058 射水市川口997
☎(0766)82-5101 FAX 84-3637
090-1391-3284
ISO9001:2015 認証取得
注文住宅・リフォーム

研究室の近況案内

知的センシング工学講座

神谷　和秀　教授

この数年の間に研究室は大きな変化がありましたので、研究室の歴史を振り返ってみます。

まず､2006 年に設立された「知能デザイン工学科」は、2018 年 4 月に名称変更を行い、「知能ロボット工学科」へと生まれ変わりました。また、同時に、慣れ親しんだ講座名「マイクロ・ナノシステム工学講座」も「知的センシング工学講座」に改めることとなりました。

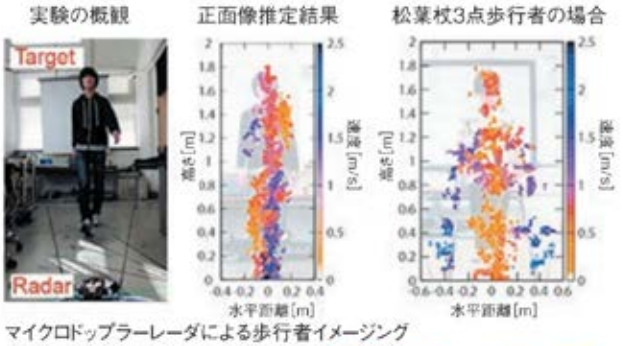
次に、講座の教員ですが、2016 年 3 月に野村俊教授が退職され、2017 年 4 月に東北大学から伊東聡先生と立命館大学から佐保賢志先生が新たに加わり、2018 年 3 月に前田幸男教授が退職されました。その結果､「知的センシング工学講座」としては、岩井准教授、松本准教授、伊東准教授、佐保講師、そして、私の 5 名体制となっています。

さて、講座名を「知的センシング工学講座」と改めましたが、それに伴って、研究の方向性を次のように定めました。

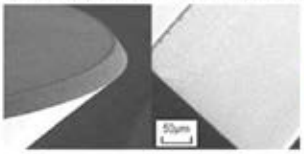
人間は、小さな子供であっても、目で見た映像を無意識のうちに活用して、上手にモノを掴んだり、邪魔なものを簡単に避けたりすることができます。本講座では、そのような人間に代わって、ロボットが活躍するモノづくり・生産加工や先端医療・福祉応用を実現するため、ロボットの目となる知的なセンシング技術とその応用技術の開発を目指しています。具体的には、次のような研究を行っています。

- ✓ 人間に代わって、航空機部品や自動車部品などを加工する自動生産システムの開発とその要素となる精密加工技術に関する研究
- ✓ 光の波動性・粒子性を利用した変位、角度、及び形状の計測に関する研究
- ✓ 半導体微粒子を利用した生体計測、医療応用に関する研究
- ✓ マイクロドップラーレーダーによる移動体の超分解能形状計測
- ✓ 超高感度センサや知的計測システムの開発及び不確かさに関する研究

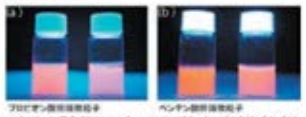
卒業生の皆様、研究室の名前は変わりましたが、雰囲気は昔のままです。いつでも安心して研究室に遊びに来てください。



マイクロドップラーレーダによる歩行者イメージング



マイクロ･ナノ加工を実現する工具と加工法の研究



バイオ計測に向けた蛍光半導体微粒子の開発

航空機部品の高能率･高精度加工の研究

鏡面物体の非接触形状測定装置

(社)全国旅行業協会正会員･富山県知事登録旅行業 2-214 号
海王交通 株式会社
旅行や各種送迎のご依頼など お気軽にお電話下さい
バス部
旅行企画 TEL 0766-82-6227
タクシー部 TEL 0766-82-6226
本　社 〒934-0011 富山県射水市本町3丁目 16-3

しょく
みんなの
よい食
プロジェクト
富山県ＪＡグループ

総合建設コンサルタント
信頼のおける技術で社会に貢献する
株式会社 建成コンサルタント
代表取締役社長　瀬　川　光太郎
本社　〒933-0014 富山県高岡市野村 284-1
TEL 0766(25)6097　FAX 0766(25)5697

Life with Green Technology
環境技術でひらく、豊かな暮らし
三協アルミ
富山支店ビル建材部
〒930-0982 富山市荒川3-2-6 TEL(076)492-0083

研究室の近況案内

微生物工学講座

五十嵐 康弘 教授、奥 直也 講師、春成 円十朗 助教

卒業生の皆さん、お元気ですか。

私たちの研究室は、有用生物探索工学研究室として1996年に発足して以来、2006年に微生物工学研究室と改名され､今日に至っています。私（五十嵐）は研究室発足当時から居りますが、これまでに3名の教員を定年、転出で送り出し、2名の教員（奥、春成）を迎えました。現在のメンバーは、教員3名に加えて、研究員2名、博士課程に4名、修士課程に2名、学部生が11名の大所帯です。ここ数年間の特徴として、留学生が大幅に増えました。中国から3名、ネパールとバングラデシュから1名ずつ、また半年間の短期滞在ですがインドネシアから大学院生が1名在籍しています。この四月からは、さらに中国とインドネシアから1名ずつが大学院生として加わります。このように、研究室は益々国際化が進み、常に英語が飛び交っています。

国際交流の一例として、インドネシアのディポネゴロ大学とは海洋微生物に関する共同研究を進めています。昨年の夏は、春成助教と大学院生が現地に二週間滞在し、サンゴ礁域での微生物採集を行いました。海洋微生物については未知の部分が大きく、抗生物質など有用な生理活性物質の発見が期待されています。また海洋に関して言えば、深層水中の放線菌から有用物質の探索を進めています。地元の富山湾に加えて、伊豆赤沢と久米島の深層水から放線菌を分離し、海域による微生物種や物質生産の差異を解析しています。

私たちの研究室は自然界からの有用な“天然物”の発見と利用を主テーマとしています。上記のような微生物のみならず、鉱物の中にも面白いものがあります。最近注目しているのが高岡市で産出される“貝化石”です。その主成分であるカルシウム化合物が非常に優れた抗菌性を示すことを明らかにしました。その特性を利用した農作物の病害防除や除菌、さらには食品の保存性向上への応用について研究を進めています。

研究室集合写真（2017年12月）

理化学器機・産業器機　　計測・試験機器

山　本　理　化
山　本　文　雄

〒930-0887 富山市五福二区5369
TEL: (076)432-1658 FAX: (076)432-1659
E-mail: yamamoto-rk@fancy.ocn.ne.jp

MOVE ON
http://www.matsump.com/
株式会社 松村精型　代表取締役　松村 浩史
〒933-0951　富山県高岡市長慶寺805　Tel.0766-25-1715

研究室の近況案内

医薬品工学科

製薬化学工学講座

村上研究室

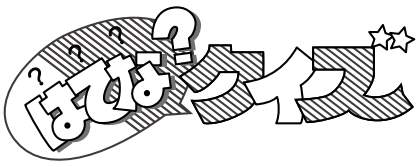
医薬品工学科は中講座制を採用しているため、学科全教員がそれぞれのラボを主宰しています。言い換えれば、１ラボあたり教員は１名です。私は前所属研究機関（京都大学 物質—細胞統合システム拠点）で、助教、准教授の身分でラボを主宰していましたので、この環境に慣れていますし、すべてのラボメンバーとの距離が近くなるという点で気に入っています。ふらりと実験室に入り、「なんかおもろいデータ出た？」から始まる学生との会話が、もしかすると私にとって一番楽しい研究活動なのかもしれません。

前所属機関で指導していた修士大学院生２名が、本学の博士大学院生として研究室に加わってくれたおかげで、私のラボは着任１年後の平成 29 年４月に立ち上がりました。その後生物工学科との共同研究という形で生物工学科学部生２名が加わりました。

医薬品工学科の研究環境は、本学事務局の多大なご支援のお陰で、前所属機関と遜色のないものになりました。前述の大学院生２名は、入学前に本学を見学した際、生物工学研究センターも含めたその研究環境の充実ぶりに心底驚いていました。県外から優秀な学生・研究者を集めるには、本学のこの隠れた(？)魅力をアピールすることも効果的かもしれません。

研究のキーワードは、ドラッグデリバリーシステム (DDS) です。京都大学眼科と共同で眼難治疾患の点眼剤を開発しています。さらに DDS を１つの細胞に適用し、光機能材料を細胞内の特定部位に輸送して遺伝子発現を光で誘導するといった細胞工学技術も開発しています。これらの DDS 研究はややもすると応用に傾きがちですが、私のラボではポジティブデータの裏にあるメカニズムにも興味を持ち、「なぜ上手くいったのか」ということも追求しています。そこから新たな研究の芽が見つかるのだと考えています。もしかするとそれは DDS とは全く違う研究になるかもしれません。学生達とそんなダイナミックな経験をたくさんしたいと思っています。

実験室の様子
写真左手（窓際）に学生の勉強机（6 セット）が並んでいて、その背中側に 2 つの中央実験台がある。写真左奥は細胞工学研究のためのレーザー実験室。安全のため内部に暗幕がある。写真右手の実験台には、分析装置が並んでいる。



富山県立大学の新棟の高さは何メートルですか？（ヒント：11 ページの「この数字をご存じですか」を見て下さい）

答えは　〇〇メートル

☆はがきで下記のあて先へ答えと住所・氏名を書いて応募下さい。正解者１０名に図書カード (500円) 進呈。正解者多数の場合は抽選とします。締切８月末（当日消印有効）。答えと一緒に「千瓢」の感想も書いて下さい。メールでの応募、同封のはがきでの応募いずれも可。

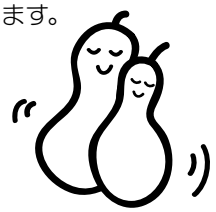
〒 939-0398 富山県射水市黒河
富山県立大学内「千瓢」編集部
E-mail　senpyokai@pu-toyama.ac.jp

「千瓢」12 号クイズの答え

＜第 12 号クイズ＞
富山県立総合衛生学院の前身、富山県立中央病院附属高等看護学院が設立された年は？

答えは　　昭和 26 年

正解者の中から抽選で１０名の方に、図書カードをお送りしました。おめでとうございます。



研究室の近況案内

情報基盤工学講座

奥原　浩之　教授

昨年、2017 年 4 月に電子・情報工学科においてスタートした新しい研究室です。研究室は、今は仮設のプレハブ校舎にあります。着任 4 月当時はまだ底冷えし、夏が近づくと暑すぎるという寒暖差も貴重な体験でした。2020 年には新棟が供用予定ですので、本学の発展の途上をまさに身を以て感じているところです。

研究室では、情報数理による意思決定とデータ科学に関する研究と教育を担当しています。主に数理工学、OR、データサイエンス、ビッグデータ分析、自然現象理解などの研究分野に取り組んでいます。

研究内容は、フィジカル・サイバー空間の課題解決・価値創造のため、データの収集・管理から多種多様なデータの統合解析にいたるまでの汎用的なデータ分析技術の開発です。蓄積された膨大なデータを最大限に利活用するため、数理モデリングと計算機シミュレーションを駆使し（図参照）、データに内在する情報を抽出するアルゴリズムや大規模データの効率的な処理によるデータに基づく意思決定の理論の研究、技術の開発やそれらを活かした実社会における問題解決も追求しています。

研究のポイントは、センシングやネットワークでデータを収集･蓄積し、数理モデルによる情報選択･知識発見を行い、意思決定に基づく制御を繰り返しスパイラル共進化する基盤メカニズムの解明と応用です。また、大規模な自然科学データに対して、数値シミュレーション結果から得られる知見と多種観測データの情報を統合的に扱う高度データ解析技術の開発にも取り組む予定です。

開発技術の活用先は、不確実・不確定・不整合なデータからのルール抽出に関連した金融工学、多目的・相反した合理性・曖昧さのもとでの最適化に関連した経営工学、自律・並列・知的な制御に関連したシステム工学、自然現象理解の分野です。

何卒、同窓生の皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

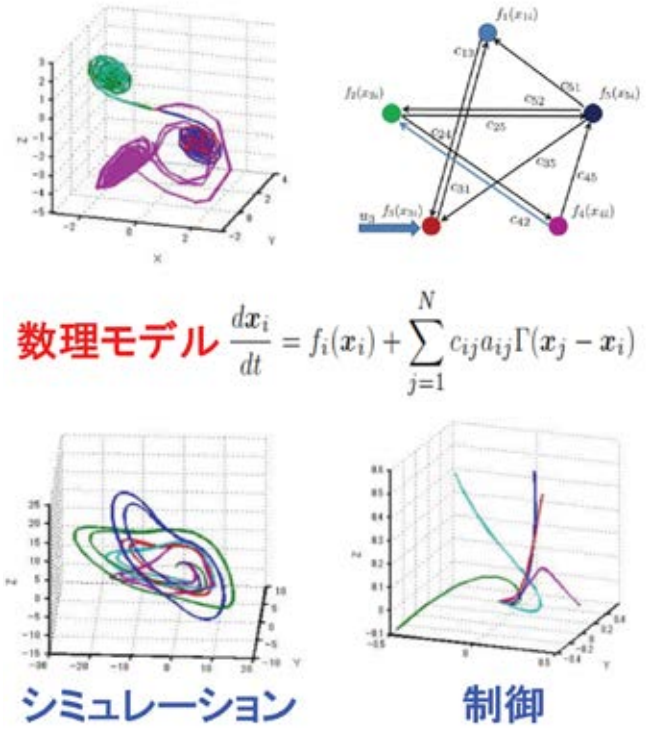


図　現象の数理モデリング

集まってます

工学部 電子情報工学科 2 期生
樋口 清美

ど～も～、スキーチーム『ぷりんぷりん』です！
県大OB･OGと､その家族で活動しているグループです。

先シーズンは、１２月に戸狩スキー場、３月には白馬五竜スキー場へ1泊スキー合宿に行ってきました～。もちろん夜は、宴会付き！

１期生、２期生が主要メンバーで、卒業以来、毎年続いているスキー合宿！なので、今年で２４年目になります。

最初は、独身連中の集まりでしたが、それぞれ家族が増え、嫁・旦那が参加するようになり、そして子ども達も参加するようになりました。

子ども同士も、毎年ゲレンデで出会うので、なかよしです。

もう、大学生になっている子もいるので、その内、親の都合が悪くても、子どもだけで参加してくれる日が来るのでは?と期待しています。

アラフォーを過ぎて、５０代が迫って来てるけど、まだまだみんな元気☆

いっぱい滑って、いっぱい飲んでま～す (^^)b

長野県　白馬五竜スキー場（2018 年 3 月 10 ～ 11 日）

研究室の近況案内

社会基盤工学講座

伊藤　始　教授

本研究室では、社会基盤を将来にわたり安全かつ快適に使い続けるために、鉄筋コンクリート構造物の①健康診断、②将来予測、③リサイクル×長持ちに関する技術を研究しています。ここでは、３つの研究を順に紹介します。

１つ目は、構造物の健康診断として、老朽化したコンクリートの構造性能を試験し、新しい点検法を開発して、その診断の確実性を向上する研究です。北電技術コンサルタント(株)と(株)アイペックと共同で、コア削孔によるコンクリート内部のひずみ測定手法を研究しています。橋梁などの構造物の内部の力を把握することは、その構造性能を精度よく評価することにつながります。実証実験では北陸自動車道から撤去した橋桁を用いて実施しました。また、金沢大学や金沢工業大学、富山市とともに北陸地方における橋梁の維持管理手法の改善を検討しています。

２つ目は、構造物の状態の将来予測として、東京電力ホールディングス(株)や日本電信電話(株)と配電や通信に用いられる遠心成形コンクリート柱の状態変化を研究しています。ひび割れ幅やたわみを予測する手法を構築することにより、国内に数千万本あるコンクリート柱を効率的に点検することを目指しています。

３つ目は、リサイクル×長持ちについて、石炭火力発電所から排出される石炭灰を利用したフライアッシュコンクリートの施工性と耐久性を評価して、劣化しにくい構造物の建設を目指します。北陸電力(株) と実構造物への適用性を評価し、川田工業(株)と複合橋梁への適用を研究しています。加えて、廃コンクリート塊から採取される再生骨材と組み合わせて、構造物のリサイクルによる環境負荷低減を考えています。

今年で本研究室が発足して 10 年目を迎えます。これまで 33 名の学生が在籍し、このような研究が実施されてきました。今後とも、学生の成長と企業の方とのつながりを大切にして、安心・安全な社会の継続に貢献したいと思います。

研究室の忘年会・OB 会（2017 年 12 月）の様子

実橋梁を用いたコア削孔実験の様子

エトワール会参加報告

同窓会副会長　須田 正樹（電子 1995 年）

昨年秋に「エトワール会」に参加する機会を頂いた。一昨年、初参加の私を新会員として受け入れて頂ける様なとてもオープンで明るい会で、会員の方々と一年振りの再会はまるで同窓会に出席する様な気持ちだった。

近況報告、学生時代の思い出話、健康に関する話題を中心に聞かせて頂いた。まだまだ続くであろう「宴たけなわ」の頃、荒木顧問と２人でマス寿司と薬膳クッキーを慣れ親しんだ百貨店の紙バッグに入れてお配りした。それらを口にした瞬間、日常の生活から学生時代にタイムスリップするきっかけになれば、と思い用意した。

（会員各位　時間旅行はできましたか？）

昨年の県立大学同窓会にはエトワール会から２名の方が足を運んでくださった。参加の連絡があった時は本当にうれしかった。

エトワール会ベスト版作成、お土産の品定めに携わったスタッフを紹介し、交流してもらうことができた。お世話を受け、お返しすることがまだ果たせていない会員の方々が富山会場に足を運んで頂いた時に懇親会場前で目印となれる様、今年も蝶ネクタイ姿でお出迎えしたい。

筆者は最後列左２人目、荒木顧問は前列左３人目

研究室の近況案内

機械システム工学科

材料設計加工学講座

真田研究室

複合材料とは、いくつかの素材を組み合わせて素材単体の特性よりもさらに優れた特性、あるいは特異な特性を持たせた材料です。古くから日本人は複合材料と深い関わりをもっています。例えば、日本家屋の「土壁」は、竹でできた格子にわらを混ぜた土を塗ったもので、竹、わら、土それぞれの特性をうまく利用して日本の風土に合った特性をもつ複合材料です。現在では、ガラスや炭素でできた繊維や粒子等と高分子材料（ポリマー）を組み合わせた複合材料が、身近な家庭用品から自動車・航空機まで幅広い分野で使用されています。

複合材料を使って安全な機械・構造物を作るためには、要求される特性が得られるように、複合材料内部の繊維や粒子等の形状・寸法・配置（これを微視構造と呼んでいます）を決めることが重要です。このため、現在、コンピューターシミュレーションを活用して複合材料の微視構造を設計し、どのような特性が得られるかという研究を行っています。例えば、右図に高い熱伝導率を有する複合材料の微視構造の設計例を示します。熱伝導率を高めるために繊維や粒子を入れますが、繊維や粒子の配合で得られる熱伝導率が変化します。コンピューターシミュレーションで最も熱伝導率が高くなる微視構造を短時間で見出すことが可能になっています。今後もますます複合材料の適用範囲は拡大し、高性能な複合材料の開発が期待されています。コンピューターシミュレーションを活用して複合材料の微視構造を設計する研究はますます重要になることでしょう。

最近では、木材等のバイオマスから得られる環境にやさしいセルロースナノファイバーと高分子材料を組み合わせた複合材料、生命体のように壊れた部分を自己修復する機能をもった複合材料の開発も進めています。すなわち、高性能な複合材料を開発することで、環境負荷を低減し、より安全な社会を築くことを目指しています。

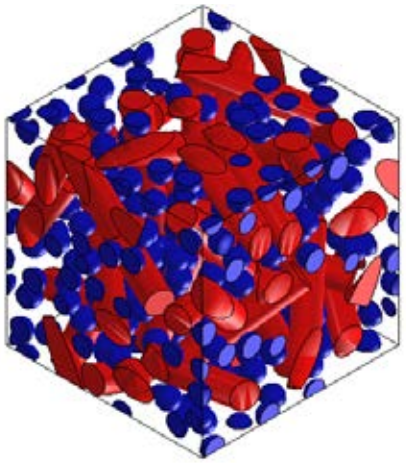


図　複合材料の微視構造

この数字をご存じですか

42メートル

この数字は富山県立大学の新棟の高さです。鉄筋コンクリート造り９階建て高さが４２メートルです。富山県の地場産業であるアルミスクリーンを建物外周部に設置、外観色は高岡伝統工芸の銅とアルミのシルバーの二色で、地域のランドマークとなると思います。

測量・設計・補償・調査
株式会社 寺島コンサルタント
富山市田中町 1-14-10　代表取締役　寺島　雅峰
TEL　076-444-1355
http://terasima.jp/

MMS（車載型レーザー計測システム）
・ 3 次元空間を走りながら計測する。
・ 3 次元データーの活用。

…地域の未来をつむいでいきます…
株式会社 上智
代表取締役　金木　春男　　取締役会長　楠　則夫
●測量・設計・補償・地籍調査●3Dレーザー計測・システム開発
本 社　富山県砺波市千代176-1　TEL(0763)33-2085
支 店　富山・石川・新潟・三重・あわじ・中四国 他
http://www.johchi.co.jp

CREATION of NiX
それは、創る未来。
NiX
株式会社 新日本コンサルタント
■本社(富山市)・東京本社　■富山空間情報センター
■支店：金沢・大阪・横浜
■営業所：中新川・南砺・新潟・能登・関西(神戸)
www.shinnihon-cst.co.jp

住所をお知らせ下さい。（会員住所不明者の一覧です。）

安達 真澄（大谷1機械）
池上 忍（大谷1機械）
清水 茂（大谷1機械）
野崎 健（大谷1機械）
藤井 義明（大谷1機械）
笹岡 正保（大谷2機械）
田中 国男（大谷2機械）
中島 知久平（大谷2機械）
川波 俊夫（大谷3機械）
神田 哲志（大谷3機械）
斉藤 徳和（大谷5機械）
藤平 勝文（大谷5機械）
山崎 慎一（大谷5機械）
北村 芳文（大谷6機械）
沢井 登（大谷8機械）
武内 清（大谷8機械）
得田 好信（技10機械）
榎 進（技12機械）
牧野 栄昭（技12機械）
浅井 勝史（技13機械）
大畑 正美（技13機械）
篠原 秀利（技13機械）
永原 正憲（技14機械）
粟田 昇（技15機械）
中埜 博之（技15機械）
長沢 誠（技15機械）
青山 栄治（技16機械）
飯野 敏雄（技16機械）
西田 武国（技16機械）
山田 正雄（技17機械）
田畑 仁（技18機械）
国谷 春名（技19機械）
野口 実（技19機械）
岩村 純一（技20機械）
沢田 孝（技20機械）
卯辰 慎一（技21機械）
高森 義則（技22機械）
柳瀬 辰仁（技22機械）
山上 泰彦（技24機械）
飯沢 直樹（技25機械）
井澤 和央（技25機械）
市川 雄一（技25機械）
高畑 広宣（技26機械）
竹田 一雄（技26機械）
田中 敏晴（技26機械）
今城 守（技27機械）
北本 博之（技27機械）
佐々木 学（技27機械）
清水 敏弘（技27機械）
高橋 健一（技27機械）
森 雅人（技27機械）
米田 雄亮（技27機械）
大角 将義（技28機械）
米道 貴広（技28機械）
西村 宇裕（技28機械）
林 秀史（技28機械）
湊 強志（技28機械）
柳浜 雄一（技28機械）
大場 信雄（大谷2農機）
石黒 伋（大谷3農機）
竹田 陸郎（大谷3農機）
竹鼻 義之（大谷3農機）
上原 勇（大谷4農機）
金村 諭（大谷5農機）
市山 健作（大谷5農機）
金子 弘行（大谷7農機）
西田 正行（大谷7農機）
鎧塚 澄男（大谷7農機）
山村 吉夫（大谷8農機）
古門 研正（大谷8農機）
山崎 博（大谷9農機）
田中 和彦（技10農機）
松浦 茂（技10農機）
小倉 孝（技11農機）
小川 正夫（技13農機）
加門 進一（技13農機）
才田 永二（技18農機）
手操 清隆（技19農機）
村上 善一（技19農機）
岩木 淳司（技20農機）
倉地 勝（技22農機）
金子 篤（技22農機）
垣地 昭一（技23農機）
松井 豊（技23農機）
折谷 政明（技24農機）
吉田 栄造（技24農機）
加納 功（技25農機）
斉藤 誠（技25農機）
永井 悟志（技25農機）
長谷川 利春（技25農機）
山本 善久（技25農機）
上田 秀明（技26農機）
森 拓行（技26農機）
横山 修（技27農機）
横山 雄一郎（技27農機）
吉崎 博（技27農機）
岡本 義典（技28農機）
田村 克巳（技28農機）
中田 教子（大谷1応数）
岡本 喜代美（大谷3応数）
堀江 時子（大谷3応数）
奥平 正子（大谷3応数）
井村 紀子（大谷4応数）
清水 緋奈子（大谷4応数）
吉田 歌子（大谷5応数）
ロングエド さち子（大谷5応数）
安藤 やす子（大谷6応数）
森山 順子（大谷6応数）
須田 裕美（大谷6応数）
斉藤 章子（大谷6応数）
麻生 正子（大谷6応数）
川嶋 輝子（大谷7応数）
宮地 栄子（大谷7応数）
熊木 恵子（大谷7応数）
小倉 志津子（大谷8応数）
宇野 順子（大谷8応数）
成瀬 君代（大谷8応数）
中嶋 洋子（大谷8応数）
宮崎 よしの（大谷9応数）
岡本 玲子（大谷9応数）
森山 宏子（大谷9応数）
富田 恵子（大谷9応数）
飯島 健治（技10応数）
田中 弘子（技10応数）
浦田 由紀子（技10応数）
小久米 典子（技10応数）
幅田 恵子（技11応数）
岩場 百合子（技11応数）
森下 美鶴子（技11応数）
三宅 知子（技11応数）
王生 光（技12応数）
山本 美子（技12応数）
武内 康子（技14応数）
小竹 厚子（技14応数）
山内 芳明（技15応数）
荒井 直美（技16応数）
吉村 真理子（技16応数）
泉野 智志（技17応数）
大石 稔（技17応数）
中島 万里子（技17応数）
吉田 ひとみ（技17応数）
野口 千香子（技17応数）
久保 葉子（技18応数）
熊谷 潤子（技18応数）
広田 美津子（技18応数）
不破 好朗（技18応数）
常田 慶子（技18応数）
日吾 ゆり子（技18応数）
植田 若葉（技20応数）
魚倉 令子（技21応数）
松原 左知（技21応数）
大江 清晃（技21応数）
桜井 寿子（技21応数）
北 竜次（技22応数）
本江 順子（技23応数）
本田 明美（技23応数）
土橋 聡美（技23応数）
多筥 秀人（技24応数）
北谷 美智恵（専18応数）
海野 愛（技25応数）
高橋 哲仁（技25応数）
中島 雄大（技25応数）
野田 智美（技25応数）
山本 孝弘（技25応数）
小林 敏（技26応数）
加納 悦子（技26応数）
長谷 健吾（技26応数）
村上 千賀子（技26応数）
萬里小路 弘知（技26応数）
田中 宏和（技27応数）
塚本 淳（技27応数）
古畑 正則（技27応数）
三ツ山 茂元（技27応数）
大岩 しづ子（技28応数）
岡本 麻記子（技28応数）
高戸 賀子（技28応数）
渋谷 徹（技28応数）
加藤 綾（技28応数）
高戸 史恭（技28応数）
宝田 聖美（技28応数）
棚辺 豊（技28応数）
柴田 久美子（技28応数）
成田 早苗（技28応数）
西川 加津枝（大谷1衛工）
大島 隼雄（大谷2衛工）
藤井 千廣（大谷2衛工）
中村 和子（大谷3衛工）
宇都宮 広子（大谷4衛工）
河原 知子（大谷4衛工）
浦田 恵美子（大谷4衛工）
矢野 幸雄（大谷4衛工）
浦田 健治（大谷5衛工）
江尻 由美子（大谷6衛工）
格谷 孝（大谷6衛工）
日南 明美（大谷6衛工）
堀田 英一（大谷6衛工）
渡辺 外美枝（大谷6衛工）
八木 麗子（大谷6衛工）
細野 広和（大谷6衛工）
田尻 順子（大谷6衛工）
八木 逸男（大谷6衛工）
午房崎 春江（大谷7衛工）
馬場 康子（大谷7衛工）
牛木 清（大谷7衛工）
午房崎 隆（大谷7衛工）
高桑 昭（大谷7衛工）
鈴木 俊彦（大谷8衛工）
松下 修（大谷8衛工）
加納 哲夫（技9衛工）
窪田 千晶（技9衛工）
柴 久美子（技9衛工）
佐伯 信也（技9衛工）
鞍田 安則（技10衛工）
武田 竜二（技10衛工）
野口 八重子（技10衛工）
砂田 光幸（技11衛工）
岩白 純子（技12衛工）
庄司 利昭（技13衛工）
中野 宏哉（技13衛工）
内山 則子（技14衛工）
谷内 賀世（技14衛工）
下田 栄樹（技14衛工）
中井 深雪（技14衛工）
吉岡 茂明（技14衛工）
上田 幸嗣（技15衛工）
田添 由野（技15衛工）
畝本 喜代美（技15衛工）
山田 清二（技16衛工）
石田 睦人（技17衛工）
道用 一彦（技17衛工）
西川 由美子（技18衛工）
牧野 登志美（技20衛工）
林 睦子（技20衛工）
石黒 文夫（技20衛工）
梅本 乃里子（技21衛工）
水林 正弘（技21衛工）
鈴木 陽子（技23衛工）
佐成 孝夫（技23衛工）
谷崎 友香（技23衛工）
永川 恵美子（技24衛工）
大倉 みゆき（技24衛工）
山田 義昭（技24衛工）
大場 茂（技25衛工）
小泉 豊（技25衛工）
小西 和孝（技25衛工）
福澤 興一（技25衛工）
川口 真市（技26衛工）
山上 智子（技26衛工）
桜木 忠和（技27衛工）
今井 健二（技27衛工）
本瀬 泰二（大谷1草農）
菅原 弘澄（大谷2草農）
東 勇治郎（大谷4草農）
金井 彦一（大谷4草農）
高柳 誠（大谷4草農）
塚田 修一（大谷5草農）
松井 久重（大谷5草農）
北井 新一（大谷6草農）
大門 武雄（大谷6草農）
鵜野 明男（大谷7草農）
近藤 達夫（大谷7草農）
古井 静也（大谷8草農）
桃井 泰昌（大谷8草農）
山本 富晴（大谷8草農）
武部 京子（大谷8草農）
永守 則一（技9草農）
太田 康寛（技10草農）
田村 裕（技10草農）
寺尾 義隆（技10草農）
池田 大三郎（技11草農）
土田 文子（技11草農）
青木 伸彦（技12草農）
山下 厚子（技12草農）
小路 文博（技12草農）
大畑 昭子（技12草農）
柞山 明（技12草農）
西本 諭（技13草農）
廣田 美雪（技14草農）
米山 史晃（技14草農）
山本 功美恵（技16草農）
中尾 美紀子（技16草農）
南部 功（技17草農）
南部 かおり（技17草農）
本郷 明子（技17草農）
片原 辰夫（技18農学）
永井 朋子（技18農学）
花房 勝則（技19農学）
北角 年之（技20農学）
高越 雅和（技21農学）
長谷川 将則（技21農学）
鎌仲 美由紀（技21農学）
稲垣 庸子（技22農学）
多賀 淑子（技22農学）
近藤 健一（技22農学）
新名 輝彦（技22農学）
小林 優子（技23農学）
松田 千恵子（技23農学）
岡田 恵美（技24農学）
清水 史枝（技24農学）
三浦 智子（技25農学）

鎌倉 裕子（技25農学）
杉田 英俊（技25農学）
西村 俊宏（技25農学）
尾崎 平（技26農学）
池畑 智子（技26農学）
上保 里子（技26農学）
右井 博幸（技26農学）
若井 幸一（技26農学）
金子 貢（技27農学）
島崎 百合（技27農学）
横山 正幸（技27農学）
安藤 均（技3農土）
増山 稔（技3農土）
柴田 民吉（技4農土）
清水 敏一（技4農土）
曾原 幸二（技5農土）
福富 正実（技6農土）
村上 正（技6農土）
山森 峰克（技6農土）
竹山 誠（技7農土）
川田 温（技8農土）
蛯谷 朱子（技8農土）
矢田 由起美（技8農土）
池田 克司（技9農土）
岡田 安平（技9農土）
牧野 常信（技9農土）
三浦 慶一（技11農土）
金子 和人（技12農土）
柄戸 正一（技12農土）
坂井 龍雄（技12農土）
黒田 研治（技13農土）
谷筋 真琴（技13農土）
中野 貞治（技14農土）
高濱 美樹（技14農土）
美濃谷 茂次（技14農土）
与三井 満浩（技14農土）
小室 英二（技15農土）
向井 昌（技15農土）
赤穂 俊彦（技17農土）
川口 一太郎（技17農土）
吉田 太一（技17農土）
宮崎 雅仁（技18農土）
西川 栄治（技19農土）
川上 浩史（技20農土）
川上 裕史（技20農土）
広田 彰良（技20農土）
柳川 浩二（技20農土）
勇崎 博志（技20農土）
荒尾 由紀子（短1生物）
後藤 さおり（短1生物）
中田 稔（短1生物）
堀岡 美奈（短1生物）
坂上 美樹（短1生物）
湯島 香桜里（短1生物）
高山 望美（短2生物）
明 めぐみ（短2生物）
田中 陽子（短4生物）
野崎 真美（短4生物）
堀岡 昌美（短4生物）
明和 裕二（短4生物）
市村 英恵（短5生物）
柴 雅恵（短5生物）
釣山 美乃里（短5生物）
福井 昌代（短5生物）
志津野 雅美（短6生物）
山藤 稔之（短6生物）
竹市 史子（短7生物）
谷口 久美子（短7生物）
三川 悦子（短7生物）
牧野 智子（短8生物）
市田 優子（短9生物）
伊藤 由美子（短9生物）
海老原 ひと美（短9生物）
河内 巧（短9生物）
長廻 志貴子（短9生物）
別島 奈美（短9生物）
本多 陽子（短9生物）
日下 泰昌（短10生物）
坂木 玲子（短10生物）
白石 みゆき（短10生物）
林 千裕（短10生物）
工藤 綾子（短11生物）
三室 美穂（短11生物）
西村 範博（短11生物）
見浦 悠里子（短11生物）
山元 克俊（短11生物）
内沢 倫和（短12生物）
林 優美（短12生物）
清水 沙織（短12生物）
武田 舞（短12生物）
松山 明子（短12生物）
浦野 典子（短12生物）
吉田 涼（短12生物）
大井 みのり（短13生物）
大野 喜美恵（短13生物）
金子 真実（短13生物）
木藤良 修子（短13生物）
鈴木 雅之（短13生物）
武田 尚子（短13生物）
鏡味 知里（短14生物）
篠田 祐司（短14生物）
藤瀬 万里絵（短14生物）
古井 多恵（短14生物）
松井 快哲（短14生物）
成瀬 好恵（短15生物）
河合 翔馬（短15生物）
高井 美耶（短15生物）
高田 周作（短15生物）
高堂 祐介（短15生物）
小松 千夏（短15生物）
平岡 千穂（短15生物）
馬田 寛子（短16生物）
篠原 冴子（短16生物）
米村 和美（短1土木）
林 健造（短1土木）
樋口 孝昭（短1土木）
一家 真由美（短2土木）
佐伯 淳（短2土木）
桜井 辰生（短2土木）
梨木 裕（短2土木）
小野 克治（短4土木）
板垣 仁志（短5土木）
桑原 洋（短5土木）
田村 悟志（短5土木）
野村 勝（短5土木）
花島 恵津子（短7土木）
幸脇 百子（短7土木）
谷口 智博（短7土木）
荒木 雅代（短8土木）
島田 和典（短8土木）
竹中 妙子（短8土木）
安田 智恵（短8土木）
由川 雅夫（短8土木）
岩田 聖子（短9土木）
川畑 陽一（短9土木）
谷口 好美（短9土木）
家島 章旨（短10土木）
山田 隆弘（短10土木）
加藤 紗都子（短11土木）
小林 加奈（短11土木）
余川 弘一（短11土木）
中 裕司（短12土木）
川崎 栄治（短13土木）
福永 慶佑（短13土木）
横川 冴子（短13土木）
小林 勝人（短1環境）
台本 和義（短1環境）
野村 明宏（短1環境）
山地 廣明（短1環境）
藤田 和恵（短2環境）
中山 純（短2環境）
上埜 和美（短2環境）
小中 真理（短3環境）
小森 かおり（短3環境）
小林 規子（短4環境）
富田 司（短4環境）
安東 美和（短5環境）
木場 千賀子（短5環境）
小山 真理（短5環境）
柴崎 奈美（短5環境）
藤根 優香子（短5環境）
四方 政樹（短6環境）
高瀬 祐希（短6環境）
垣地 めぐみ（短6環境）
山本 美紀（短6環境）
酒井 美里（短7環境）
杉山 友佳子（短7環境）
松平 司（短7環境）
高木 三千丈（短8環境）
谷前 里史（短8環境）
森永 加奈子（短8環境）
田中 小耶子（短9環境）
徳岡 咲子（短9環境）
和田 由香里（短9環境）
奥井 雅子（短10環境）
庄田 麻衣子（短10環境）
野坂 広恵（短10環境）
山上 勝信（短10環境）
吉田 昌史（短10環境）
大崎 由紀子（短11環境）
清家 志乃（短11環境）
岩切 さやか（短11環境）
二ノ宮 孝章（短11環境）
古本 陽子（短11環境）
宮崎 徳明（短11環境）
田嶋 牧子（短12環境）
原田 美穂（短12環境）
明野 真希子（短13環境）
吉田 有良（短13環境）
須加 清智（短14環境）
中林 千紗都（短14環境）
安田 優子（短14環境）
木戸屋 昌亨（短15環境）
石井 南（短16環境）
大畑 真理（短16環境）
金山 嘉文（短16環境）
小林 理美（短16環境）
關本 直也（短16環境）
中島 由理（短16環境）
平澤 勇樹（短16環境）
見浦 成子（短16環境）
根木村 里子（短17環境）
福田 健悟（短17環境）
松本 剛（短17環境）
米谷 雄太郎（短18環境）
藤瀬 絵理（短18環境）
高田 有（短19環境）
増山 萌（短19環境）
松岡 志温（短19環境）
今井 豊彦（専1生物）
西谷 佳七子（専1生物）
門脇 如美（専3生物）
金子 真実（専7生物）
杉山 友佳子（専1環境）
竹中 妙子（専2環境）
家島 章旨（専4環境）
押川 裕太（専6環境）
名取 千晶（専6環境）
大倉 透（大1994機械）
小倉 功才（大1994機械）
河野 義彦（大1994機械）
猿山 史朗（大1994機械）
飛山 哲一（大1994機械）
中田 渉二朗（大1994機械）
松井 秀一（大1994機械）
宮本 博之（大1994機械）
柳原 孝紀（大1994機械）
山本 隆治（大1994機械）
今川 宏一（大1995機械）
奥野 裕明（大1995機械）
北川 拓也（大1995機械）
熊谷 泰宏（大1995機械）
福田 直也（大1995機械）
宮田 智（大1995機械）
岡本 豊誠（大1996機械）
宮森 祐江（大1996機械）
小林 雄二（大1996機械）
五本 一史（大1996機械）
塩谷 剛史（大1996機械）
中川 和樹（大1996機械）
中島 幸司（大1996機械）
中根 浩（大1996機械）
松本 達雄（大1996機械）
水野 裕志（大1996機械）
宮森 史朗（大1996機械）
吉村 了（大1996機械）
奥田 雄一郎（大1997機械）
奥野 弘明（大1997機械）
金子 仁（大1997機械）
小柳 博司（大1997機械）
坂林 誠二（大1997機械）
坂本 雅美（大1997機械）
中元 直史（大1997機械）
西 善則（大1997機械）
三宅 俊光（大1997機械）
宮崎 正樹（大1997機械）
結城 聖慈（大1997機械）
朝倉 英樹（大1998機械）
大谷 将鋭（大1998機械）
落合 洋文（大1998機械）
金木 真悟（大1998機械）
川出 昇（大1998機械）
栗本 篤（大1998機械）
黒川 智且（大1998機械）
纐纈 芳隆（大1998機械）
小須田 高志（大1998機械）
佐藤 由規（大1998機械）
柴田 洋二（大1998機械）
下村 幸司（大1998機械）
諏訪 博之（大1998機械）
高木 謙太郎（大1998機械）
高田 輝之（大1998機械）
鍋島 聡（大1998機械）
平山 和弘（大1998機械）
丸山 臣卓（大1998機械）
山田 尚俊（大1998機械）
山田 浩史（大1998機械）
渡邊 一雄（大1998機械）
上野 修（大1999機械）
金森 拓（大1999機械）
佐藤 元哉（大1999機械）
鈴木 幹土（大1999機械）
竹下 直宏（大1999機械）
辻 邦夫（大1999機械）
西中 友浩（大1999機械）
宮川 玄希（大1999機械）
室谷 武（大1999機械）
山本 博久（大1999機械）
米田 純一郎（大1999機械）
青井 俊朗（大2000機械）
浅田 博志（大2000機械）
小田 徹志（大2000機械）
栗山 拓也（大2000機械）
佐々木 隆宏（大2000機械）
高橋 大祐（大2000機械）
高橋 紀子（大2000機械）
竹腰 敏乙（大2000機械）
寺島 幸司（大2000機械）
松永 寛子（大2000機械）
新居 敦（大2000機械）
八川 佳平（大2000機械）
安達 明知宏（大2001機械）
市井 利明（大2001機械）
岡村 仁（大2001機械）
葛原 康之（大2001機械）
藤谷 里香（大2001機械）
山崎 浩平（大2001機械）
井下 僚臣（大2002機械）
伊藤 勇二（大2002機械）
上田 覚児（大2002機械）
須加 淳一（大2002機械）
寺岡 伸也（大2002機械）
野村 英明（大2002機械）
檜山 達也（大2002機械）
広居 忠喜（大2002機械）
三牧 弘明（大2002機械）
村上 渉（大2002機械）
山本 和明（大2002機械）

次ページにつづく

伊原 康浩（大2003機械）
尾関 祐樹（大2003機械）
酒井 豊人（大2003機械）
谷山 宏次（大2003機械）
中村 聡（大2003機械）
長島 仁宏（大2003機械）
新村 亮一（大2003機械）
林 寛之（大2003機械）
平池 哲哉（大2003機械）
宮崎 千佳（大2003機械）
宮森 弘隆（大2003機械）
森岡 聖（大2003機械）
森田 恵美（大2003機械）
山崎 立人（大2003機械）
河野 圭亮（大2004機械）
神原 鉄平（大2004機械）
北出 智弘（大2004機械）
近藤 泰裕（大2004機械）
後藤 智史（大2004機械）
田嶋 英一（大2004機械）
田村 正和（大2004機械）
西谷 一光（大2004機械）
北荘 賢（大2004機械）
山下 健一（大2004機械）
青山 太郎（大2005機械）
赤塚 雄宇（大2005機械）
鵜飼 孝史（大2005機械）
江口 喬久（大2005機械）
越前谷 伸司（大2005機械）
奥堂 美歩（大2005機械）
桶本 充悠（大2005機械）
倉谷 玲伊子（大2005機械）
笹本 健司（大2005機械）
橋本 篤徳（大2005機械）
堀内 学（大2005機械）
美好 康行（大2005機械）
今西 清剛（大2006機械）
仮谷 徹（大2006機械）
谷原 俊介（大2006機械）
永田 哲朗（大2006機械）
野田 貴裕（大2006機械）
林 修司（大2006機械）
吉野 浩司（大2006機械）
西垣 翔輔（大2007機械）
原田 卓（大2007機械）
深谷 倫也（大2007機械）
明地 伸悟（大2007機械）
山名 崇博（大2007機械）
女川 一真（大2008機械）
金 永進（大2008機械）
桐沢 真吾（大2008機械）
楠 翔旭（大2008機械）
富田 佑司（大2008機械）
任 志宇（大2008機械）
林 惇史（大2008機械）
水野 貴文（大2008機械）
相田 潤平（大2009機械）
井手 晋平（大2009機械）
坂部 淳一（大2009機械）
砂山 裕俊（大2009機械）
辻 幸一郎（大2009機械）
中野 慎吾（大2009機械）
中山 覚充（大2009機械）
平野 友（大2009機械）
水谷 光希（大2009機械）
佐賀 勇基（大2010機械）
竹内 聖治（大2010機械）
川坂 亮太（大2011機械）
呉 龍太郎（大2011機械）
小牧 修（大2011機械）
戸田 修平（大2011機械）
森田 一彰（大2011機械）
荒垣 貴之（大2012機械）
西村 興一（大2012機械）
丹羽 良太郎（大2012機械）
山崎 遼平（大2012機械）
麻生 大司（大2013機械）
笠井 実（大2013機械）
勝田 智大（大2013機械）
加藤 利宗（大2013機械）
高橋 諒（大2013機械）
武藤 貴哉（大2013機械）
伊達 充洋（大2013機械）
水野 雄太（大2013機械）
村田 泰之（大2013機械）
望月 基史（大2013機械）
森脇 彬（大2013機械）
大村 拓也（大2015機械）
加門 智（大2015機械）
佐野 純也（大2015機械）
鈴木 敬介（大2015機械）
須田 紘成（大2015機械）
髙岡 裕人（大2015機械）
東野 将吾（大2015機械）
林 偉偉（大2015機械）
藤野 友也（大2015機械）
古川 晃平（大2015機械）
邉見 隆洋（大2015機械）
松本 翼（大2015機械）
宮崎 貴之（大2015機械）
村上 雄哉（大2015機械）
元山 克也（大2015機械）
森岡 祐亮（大2015機械）
山田 陽司（大2015機械）
渡邊 了太（大2015機械）
荒木 崇宏（大2016機械）
金森 久高（大2016機械）
川越 邦嗣（大2016機械）
坂崎 圭一（大2016機械）
白石 務（大2016機械）
鈴木 志郎（大2016機械）
鈴木 廉（大2016機械）
高橋 尚己（大2016機械）
竹村 真人（大2016機械）
丹菊 裕介（大2016機械）
土田 裕司（大2016機械）
土井 勇輝（大2016機械）
中後 卓也（大2016機械）
中島 健太（大2016機械）
中島 信也（大2016機械）
中田 知良（大2016機械）
納所 泰華（大2016機械）
濱谷 真充（大2016機械）
伴場 亮太（大2016機械）
番場 敏夫（大2016機械）
東方 浩紀（大2016機械）
広瀬 良平（大2016機械）
堀川 紘海（大2016機械）
三浦 堅史（大2016機械）
水谷 風舞輝（大2016機械）
山田 穂高（大2016機械）
山本 祐介（大2016機械）
石山 健（大2017機械）
伊藤 建人（大2017機械）
太田 祥平（大2017機械）
城戸 勇哉（大2017機械）
小見山 拓（大2017機械）
湖本 勇太（大2017機械）
佐藤 聖真（大2017機械）
澤村 裕介（大2017機械）
砂川 美月（大2017機械）
須山 皓斗（大2017機械）
田村 祐太（大2017機械）
坪内 大輝（大2017機械）
鶴見 昇乃信（大2017機械）
中田 昌希（大2017機械）
中村 誠也（大2017機械）
中本 央志（大2017機械）
山本 峻太郎（大2017機械）
横山 大輔（大2017機械）
吉川 将太（大2017機械）
吉田 雄作（大2017機械）
米田 悠哉（大2017機械）
奥道 恵美（大1994電子）
杉山 博史（大1994電子）
松村 真治（大1994電子）
源 泰輔（大1994電子）
渡邉 寛章（大1994電子）
大畑 貴光（大1995電子）
佐伯 厚志（大1995電子）
高柳 学（大1995電子）
林 浩司（大1995電子）
皆川 知也（大1995電子）
生地 茂樹（大1996電子）
加藤 聡（大1996電子）
加門 浩次（大1996電子）
柴田 康之（大1996電子）
砂田 紀和（大1996電子）
瀧本 真樹（大1996電子）
武部 英明（大1996電子）
土木 貴詞（大1996電子）
野村 麻子（大1996電子）
深澤 崇宏（大1996電子）
山下 英人（大1996電子）
吉本 順一（大1996電子）
渡辺 司郎（大1996電子）
池田 昌弘（大1997電子）
上田 実（大1997電子）
牛越 佳典（大1997電子）
大嶋 浩幹（大1997電子）
小坂谷 勇（大1997電子）
鈴木 康二郎（大1997電子）
名倉 伸行（大1997電子）
福田 崇雄（大1997電子）
藤浪 公一（大1997電子）
松岡 正孝（大1997電子）
山本 雅之（大1997電子）
伊東 祐二（大1998電子）
上島 昌典（大1998電子）
内田 正人（大1998電子）
浦林 拓也（大1998電子）
大重 稔（大1998電子）
神林 寛（大1998電子）
菅田 宗克（大1998電子）
杉山 秀和（大1998電子）
東井 稔（大1998電子）
大井 健史（大1999電子）
大迫 館行（大1999電子）
大坪 貴幸（大1999電子）
岡野 敏也（大1999電子）
尾塩 和亮（大1999電子）
加藤 純（大1999電子）
高橋 理恵（大1999電子）
竹内 久彦（大1999電子）
西山 崇博（大1999電子）
山口 高広（大1999電子）
加藤 真介（大2000電子）
小林 修平（大2000電子）
竹内 宏誠（大2000電子）
寺田 智大（大2000電子）
中田 香（大2000電子）
中山 貴義（大2000電子）
野村 貞輔（大2000電子）
前田 陽平（大2000電子）
増田 耕平（大2000電子）
松井 奈緒（大2000電子）
寺崎 宏美（大2000電子）
渡部 忠司（大2000電子）
稲本 貴也（大2001電子）
氏家 真理子（大2001電子）
北嶋 隆了（大2001電子）
堀井 雅俊（大2001電子）
飯野 悦充（大2002電子）
伊東 誠（大2002電子）
黒田 裕也（大2002電子）
清水 彰人（大2002電子）
田中 優貴（大2002電子）
知野 明裕（大2002電子）
辻 慎一（大2002電子）
宮崎 和弥（大2002電子）
山口 裕己（大2002電子）
奥野 知稼子（大2003電子）
岩本 健二（大2003電子）
大原 寿規（大2003電子）
岡 慎也（大2003電子）
上出 寿彦（大2003電子）
干場 原（大2003電子）
前田 陽亮（大2003電子）
有田 聡（大2004電子）
市丸 和樹（大2004電子）
大木 格司（大2004電子）
小林 聡人（大2004電子）
竹内 啓晃（大2004電子）
中新 浩志（大2004電子）
波岡 聡志（大2004電子）
上野 紗織（大2004電子）
林 恭平（大2004電子）
藤田 大（大2004電子）
前田 智志（大2004電子）
両角 佳典（大2004電子）
荒井 佐和（大2005電子）
井原 正和（大2005電子）
浦野 暁江（大2005電子）
京井 真之（大2005電子）
桐田 満（大2005電子）
笹本 和希（大2005電子）
中山 研二（大2005電子）
西田 政輝（大2005電子）
納村 憲一（大2005電子）
乘松 良樹（大2005電子）
弘崎 真帆（大2005電子）
松田 桂太（大2005電子）
池田 広大（大2006電子）
岩崎 真孝（大2006電子）
中島 和幸（大2006電子）
長井 真希（大2006電子）
松永 登志光（大2006電子）
水谷 恭成（大2006電子）
池田 悠介（大2007電子）
鬼頭 美貴（大2007電子）
菰原 慎太郎（大2007電子）
庄川 政也（大2007電子）
杉山 太基（大2007電子）
竹内 敬典（大2007電子）
林 丈史（大2007電子）
沖 直也（大2008電子）
古谷 聡志（大2008電子）
鈴木 将記（大2008電子）
平井 克彦（大2008電子）
古谷 茂夫（大2008電子）
見津 輝聖（大2008電子）
三宅 新（大2008電子）
山本 邦弘（大2008電子）
渡邉 達郎（大2008電子）
木田 成優（大2009電子）
毛見 迪博（大2009電子）
後藤田 健一（大2009電子）
小竹 宏樹（大2009電子）
高橋 拓也（大2009電子）
田島 佑輔（大2009電子）
陳 峰（大2009電子）
野原 尚人（大2009電子）
羽根 靖恵（大2009電子）
兵後 亮輔（大2009電子）
松井 優（大2009電子）
孟 繁輝（大2009電子）
山口 達也（大2009電子）
吉村 和真（大2009電子）
梁 鵬（大2009電子）
重見 竜作（大2010生物）
福田 芳恵（大2011生物）
黒川 優香里（大2011生物）
渓本 麻美（大2011生物）
新川 雄志（大2011生物）
野中 由香（大2011生物）
花田 奈緒美（大2011生物）
川上 祥平（大2012生物）
高橋 菜々（大2012生物）
花房 知朗（大2012生物）
藤原 翔一（大2012生物）
細川 智香（大2012生物）
松尾 実季（大2012生物）
岩田 知沙（大2013生物）
上野 千来（大2013生物）
宇佐見 有加（大2013生物）
川村 美香（大2013生物）
北川 慎二（大2013生物）
北山 晃太（大2013生物）
佐藤 直人（大2013生物）
鈴木 亜紗美（大2013生物）

萩原 裕（大2013生物）
朴木 佳那（大2013生物）
本田 旬（大2013生物）
太田 可奈（大2014生物）
坂上 唯（大2014生物）
長 つぐみ（大2014生物）
東 里菜（大2014生物）
青島 和音（大2015生物）
朝日 孝行（大2015生物）
池端 裕貴（大2015生物）
石川 愛理沙（大2015生物）
石田 さやか（大2015生物）
岩﨑 春香（大2015生物）
上野 千明（大2015生物）
酒井 瑛莉子（大2015生物）
菅原 梢（大2015生物）
杉村 奈津希（大2015生物）
高平 梨可（大2015生物）
田代 菜緒（大2015生物）
遠山 枝李（大2015生物）
野尻 茜（大2015生物）
架田 貴美（大2015生物）
藤本 圭（大2015生物）
三由 美都季（大2015生物）
山下 萌笑（大2015生物）
山田 亜矢子（大2015生物）
吉岡 千尋（大2015生物）
若杉 実咲（大2015生物）
伊藤 春佳（大2016生物）
岩上 千華（大2016生物）
岩﨑 成美（大2016生物）
岩脇 桃子（大2016生物）
上野 綾香（大2016生物）
大堀 孝晃（大2016生物）
金丸 凌（大2016生物）
金田 咲紀子（大2016生物）
川端 美優（大2016生物）
木野 貴仁（大2016生物）
清都 椋平（大2016生物）
後藤 健太（大2016生物）
齋 宏治（大2016生物）
斉藤 真冬（大2016生物）
坂 恵里香（大2016生物）
高松 将士（大2016生物）
髙柳 綾奈（大2016生物）
反中 ひろの（大2016生物）
中野 椋太（大2016生物）
八箇 裕子（大2016生物）
橋本 暁乃（大2016生物）
樋口 純（大2016生物）
深川 美里（大2016生物）
福島 庸祐（大2016生物）
三屋 みどり（大2016生物）
宮﨑 愛満（大2016生物）
宮西 謙弥（大2016生物）
米田 有紗（大2016生物）
粟谷 晃也（大2017生物）
池田 奈央（大2017生物）
居島 冴香（大2017生物）
内田 夏樹（大2017生物）
加藤 遼弥（大2017生物）
河上 佳奈（大2017生物）
北川 あすか（大2017生物）
北川 哲也（大2017生物）
阪口 由佳（大2017生物）
酒本 千穂（大2017生物）
佐藤 正典（大2017生物）
玉村 慎（大2017生物）
千草 佑太（大2017生物）
中川 恵蔵（大2017生物）
中澤 舞（大2017生物）
中堀 春花（大2017生物）
中山 千澄（大2017生物）
西野 弘起（大2017生物）
林 咲希（大2017生物）
平手 拓哉（大2017生物）
藤本 亮太（大2017生物）
二永 貴（大2017生物）
古川 栞（大2017生物）
松村 末利子（大2017生物）

村井 俊介（大2017生物）
森岡 静香（大2017生物）
柳瀬 公美（大2017生物）
吉田 笑美加（大2017生物）
米田 結奈（大2017生物）
安孫子 渡（大2010知能）
池田 哲也（大2011知能）
緒方 隆介（大2011知能）
髙橋 香央里（大2011知能）
内藤 千裕（大2011知能）
平井 達也（大2011知能）
升田 善之（大2011知能）
河合 修平（大2012知能）
北山 彩佳（大2012知能）
園田 崇人（大2012知能）
塚本 純一（大2012知能）
村上 麻衣子（大2012知能）
石黒 基顕（大2013知能）
加藤 幸弘（大2013知能）
田中 薫（大2013知能）
西井 健作（大2013知能）
林 慶介（大2013知能）
森松 祐太朗（大2013知能）
加藤 尊基（大2014知能）
河合 政人（大2014知能）
杉浦 弘樹（大2014知能）
清野 太陽（大2014知能）
武田 和哉（大2014知能）
長田 謙亮（大2014知能）
奥村 雅敏（大2015知能）
栗田 春菜（大2015知能）
小林 正和（大2015知能）
佐々木 勇翔（大2015知能）
佐藤 武（大2015知能）
柴田 慶（大2015知能）
鈴木 祐二郎（大2015知能）
野嶋 優冬（大2015知能）
橋本 尚吾（大2015知能）
林 薫和（大2015知能）
古田 有紀（大2015知能）
細川 璃香（大2015知能）
前田 直樹（大2015知能）
森田 悠生（大2015知能）
芳村 圭祐（大2015知能）
若林 優也（大2015知能）
秋山 顕吾（大2016知能）
天羽 麻奈惠（大2016知能）
石立 真輝（大2016知能）
黒田 浩平（大2016知能）
越本 悠暉（大2016知能）
小松 勇太（大2016知能）
下田 伸彦（大2016知能）
髙岡 祐輔（大2016知能）
田中 緑（大2016知能）
中井 伸（大2016知能）
中尾 眞恭（大2016知能）
成伯 宗一郎（大2016知能）
林 茂希（大2016知能）
馬場 亮輔（大2016知能）
藤井 滉太（大2016知能）
水間 恭平（大2016知能）
村田 剛史（大2016知能）
森 彩夏（大2016知能）
吉次 雄基（大2016知能）
浅尾 匠郎（大2017知能）
井戸 睦顕（大2017知能）
岡田 直樹（大2017知能）
清原 勇輝（大2017知能）
子林 達也（大2017知能）
小林 夕馬（大2017知能）
鈴木 雄之（大2017知能）
田中 祥太（大2017知能）
中山 栞里（大2017知能）
錦見 和樹（大2017知能）
橋本 勇太（大2017知能）
長谷川 裕記（大2017知能）
浜井 隆亘（大2017知能）
林 航平（大2017知能）
林 直樹（大2017知能）
林 竜汰（大2017知能）

古川 治（大2017知能）
細江 拳（大2017知能）
本郷 皓己（大2017知能）
油谷 亜利沙（大2012情報）
曽川 貴裕（大2012情報）
髙山 洋一（大2012情報）
中島 豊（大2012情報）
山下 和也（大2012情報）
吉澤 孝行（大2012情報）
伊藤 啓介（大2013情報）
打越 大成（大2013情報）
郭 艷嬌（大2013情報）
塩月 寿（大2013情報）
鈴木 将吾（大2013情報）
坪井 奎典（大2013情報）
刀祢 翔平（大2013情報）
中山 泰紀（大2013情報）
林 健志（大2013情報）
藤田 雅人（大2013情報）
藤村 明日香（大2013情報）
松村 徳紀（大2013情報）
水野 草太（大2013情報）
森田 隆昭（大2013情報）
森山 寛章（大2013情報）
山室 武士（大2013情報）
山本 拓哉（大2013情報）
小林 大介（大2014情報）
中﨑 敏信（大2014情報）
大橋 史佳（大2015情報）
上川 優貴（大2015情報）
河井 純平（大2015情報）
坂井 篤司（大2015情報）
TANISAKA THIAGO TEIJI（大2015情報）
恒松 幸志（大2015情報）
渕上 朋也（大2015情報）
古田 紘一（大2015情報）
前川 智紀（大2015情報）
丸山 紘史（大2015情報）
八島 悠貴（大2015情報）
青木 真一郎（大2016情報）
浅井 康平（大2016情報）
伊藤 宏朗（大2016情報）
井戸田 悟志（大2016情報）
稲場 美央（大2016情報）
岡 大貴（大2016情報）
角海 綾香（大2016情報）
鈴木 智博（大2016情報）
関野 静香（大2016情報）
仙臺 千沙子（大2016情報）
髙田 智樹（大2016情報）
高松 将也（大2016情報）
竹田 千輝（大2016情報）
田中 竣也（大2016情報）
田邊 智昭（大2016情報）
田端 浩志（大2016情報）
大門 良（大2016情報）
近成 悠佑（大2016情報）
中川 恵美（大2016情報）
中村 円香（大2016情報）
西澤 知義（大2016情報）
服部 史空（大2016情報）
羽根 和貴（大2016情報）
増田 知也（大2016情報）
吉田 孝紀（大2016情報）
新井 雄登（大2017情報）
井上 周三（大2017情報）
牛田 慧（大2017情報）
内山 翔太（大2017情報）
大口 耀右（大2017情報）
川内 真紀（大2017情報）
佐野 魁人（大2017情報）
竹村 宗泰（大2017情報）
中山 明日未（大2017情報）
藤田 晃佑（大2017情報）
古川 昌樹（大2017情報）
水内 智也（大2017情報）
三宅 雄太（大2017情報）
森永 裕矢（大2017情報）
山田 武義（大2017情報）

山本 旭（大2017情報）
吉国 叡（大2017情報）
吉田 湧哉（大2017情報）
板津 靖之（大2013環境）
大野 宏樹（大2013環境）
渋谷 洋平（大2013環境）
清水 勝利（大2013環境）
鈴木 祥太（大2013環境）
竹村 和哉（大2013環境）
巽 健二（大2013環境）
中野 翔（大2013環境）
長谷川 慶輔（大2013環境）
長谷川 正利（大2013環境）
本山 亜友里（大2013環境）
若林 晃太（大2013環境）
伊藤 留寿都（大2015環境）
井上 雄太（大2015環境）
桶谷 弦輝（大2015環境）
窪田 一沙（大2015環境）
小平 剛士（大2015環境）
高見 涼（大2015環境）
寺西 健太（大2015環境）
十倉 天（大2015環境）
西部 美雪（大2015環境）
二瓶 秀星（大2015環境）
樋口 恵（大2015環境）
松井 孝郎（大2015環境）
三原 一輝（大2015環境）
石川 稜（大2016環境）
井上 護（大2016環境）
藺森 悠伎（大2016環境）
梅本 雪華（大2016環境）
浦田 浩孝（大2016環境）
大橋 真輝（大2016環境）
小倉 侑也（大2016環境）
加藤 諒佑（大2016環境）
神谷 隼人（大2016環境）
小林 勇佑（大2016環境）
駒田 健吾（大2016環境）
佐藤 博仁（大2016環境）
高辻 航平（大2016環境）
髙橋 幸太郎（大2016環境）
竹内 皓基（大2016環境）
永井 拓史（大2016環境）
布施 佳樹（大2016環境）
松浦 拓哉（大2016環境）
山田 伸明（大2016環境）
若林 希恵（大2016環境）
青山 洸貴（大2017環境）
市川 正晴（大2017環境）
一野 寛登（大2017環境）
角山 沙織（大2017環境）
加門 翔太（大2017環境）
川﨑 友莉（大2017環境）
川下 拓希（大2017環境）
﨑川 遼太（大2017環境）
品川 竜也（大2017環境）
武田 健吾（大2017環境）
中島 良（大2017環境）
服部 僚訓（大2017環境）
長谷川 雅俊（大2017環境）
平木 岳宏（大2017環境）
深井 謙佑（大2017環境）
藤澤 美希（大2017環境）
藤森 洋充（大2017環境）
古郡 康聖（大2017環境）
松林 達也（大2017環境）
村田 湧水（大2017環境）
佐藤 博（院前1996機械）
中村 健一（院前1996機械）
暮石 光浩（院前1997機械）
小林 宏（院前1998機械）
鈴木 秀知（院前1998機械）
南保 賢（院前1998機械）
初見 浩之（院前1998機械）
瀧本 勝英（院前1999機械）
張 国学（院前1999機械）
植原 悟之（院前2000機械）

次ページにつづく

劉　波（院前 2000 機械）
大河内 宏紀（院前 2001 機械）
小川 洋行（院前 2001 機械）
土田 優子（院前 2001 機械）
濱出 研介（院前 2001 機械）
周　浩（院前 2002 機械）
林　英信（院前 2002 機械）
大西 崇博（院前 2003 機械）
小西 慶明（院前 2003 機械）
董　居清（院前 2003 機械）
中山 勝之（院前 2003 機械）
山下 剛（院前 2003 機械）
金　仁国（院前 2004 機械）
藤村 英文（院前 2004 機械）
林　玲実（院前 2004 機械）
長島 仁宏（院前 2005 機械）
村上 賀信（院前 2005 機械）
石田 英（院前 2007 機械）
江口 喬久（院前 2007 機械）
姜　汶秀（院前 2007 機械）
土井 滋（院前 2007 機械）
堀内 学（院前 2007 機械）
高波 雄太（院前 2008 機械）
中野 裕文（院前 2008 機械）
山内 寿晃（院前 2008 機械）
江尻 康浩（院前 2009 機械）
森　哲弥（院前 2009 機械）
大岩 保貴（院前 2011 機械）
永田 義和（院前 2011 機械）
堀　竜洋（院前 2011 機械）
伊藤 正隆（院前 2012 機械）
伊藤 英樹（院前 2014 機械）
堀池 駿（院前 2014 機械）
孟　繁星（院前 2014 機械）
浦口 陽矢（院前 2015 機械）
大野 峻雅（院前 2015 機械）
笠井 実（院前 2015 機械）
加藤 利宗（院前 2015 機械）
四十万 淳（院前 2015 機械）
伊達 充洋（院前 2015 機械）
張　郡洢（院前 2015 機械）
松浦 篤大（院前 2015 機械）
望月 基史（院前 2015 機械）
東　邦哉（院前 2016 機械）
岩出 翔伍（院前 2016 機械）
岡崎 太洋（院前 2016 機械）
岡田 悦郎（院前 2016 機械）
木下 雅巧（院前 2016 機械）
康　照寧（院前 2016 機械）
近藤 史樹（院前 2016 機械）
杉浦 智哉（院前 2016 機械）
花村 拓哉（院前 2016 機械）
塩原 裕規（院前 2017 機械）
田中 涼（院前 2017 機械）
邉見 隆洋（院前 2017 機械）
堀井 明（院前 2017 機械）
山田 陽司（院前 2017 機械）
渡邊 了太（院前 2017 機械）
川上 貴（院前 1996 電子）
糀谷 耕作（院前 1996 電子）
中澤 和博（院前 1996 電子）
梅原 加寿也（院前 1998 電子）
木下 智樹（院前 1998 電子）
中田 哲也（院前 1998 電子）
林　亭（院前 1998 電子）
宮下 研也（院前 1998 電子）
山本 真佐史（院前 1998 電子）
石黒 智則（院前 1999 電子）
先間 宏行（院前 1999 電子）
辻　智弘（院前 1999 電子）
楊　楊（院前 1999 電子）
中澤 透（院前 2000 電子）
藤井 直孝（院前 2000 電子）
佐武 慎介（院前 2001 電子）
芝田 岳洋（院前 2001 電子）
柳田 洋邦（院前 2001 電子）
劉　萍（院前 2001 電子）
太田 勝（院前 2002 電子）
張　青（院前 2002 電子）
畢　衛星（院前 2002 電子）

深川 岳彦（院前 2002 電子）
舟田 真理（院前 2002 電子）
三浦 健太郎（院前 2002 電子）
山本 祐介（院前 2002 電子）
今井 崇（院前 2003 電子）
大津 三記男（院前 2003 電子）
舟川 剛夫（院前 2003 電子）
宮田 充（院前 2003 電子）
川尻 尚宏（院前 2004 電子）
清水 彰人（院前 2004 電子）
知野 明裕（院前 2004 電子）
中川 和行（院前 2004 電子）
森　大輔（院前 2004 電子）
海保 穏宏（院前 2005 電子）
韓　基良（院前 2005 電子）
熊谷 剛志（院前 2005 電子）
髙田 征宏（院前 2005 電子）
寺下 真理子（院前 2005 電子）
中河 泰済（院前 2005 電子）
前田 英樹（院前 2005 電子）
有田 聡（院前 2006 電子）
市丸 和樹（院前 2006 電子）
大木 格司（院前 2006 電子）
小林 聡人（院前 2006 電子）
榊原 和広（院前 2006 電子）
佐々木 浩（院前 2006 電子）
中野 聡（院前 2006 電子）
波岡 聡志（院前 2006 電子）
飯塚 貴士（院前 2007 電子）
藤岡 真士（院前 2007 電子）
山元 修司（院前 2007 電子）
落合 淳（院前 2000 生物）
鷲家 真吾（院前 2000 生物）
石川 直愛（院前 2001 生物）
入佐 史郎（院前 2001 生物）
久留 智美（院前 2001 生物）
西谷 佳七子（院前 2002 生物）
林　豊（院前 2004 生物）
福西 省平（院前 2004 生物）
劉　遠（院前 2004 生物）
小畑 貴正（院前 2005 生物）
川岸 貴博（院前 2005 生物）
柳瀬 紗恵子（院前 2007 生物）
大木 慎也（院前 2008 生物）
中林 佐知栄（院前 2008 生物）
茂木 司（院前 2008 生物）
于　林凱（院前 2011 生物）
山下 成淋（院前 2013 生物）
山本 和樹（院前 2013 生物）
門嶋 泰斗（院前 2015 生物）
寺井 杏奈（院前 2015 生物）
中村 竜大（院前 2015 生物）
長森 駿太朗（院前 2015 生物）
端　紗也加（院前 2015 生物）
橋本 秀雄（院前 2015 生物）
朴木 佳那（院前 2015 生物）
小路 征（院前 2016 生物）
風間 美輝（院前 2016 生物）
松岡 徳明（院前 2016 生物）
山内 健太（院前 2016 生物）
青島 和音（院前 2017 生物）
石田 さやか（院前 2017 生物）
高平 梨可（院前 2017 生物）
架田 貴美（院前 2017 生物）
大下 雅人（院前 2008 知能）
柏原 健朗（院前 2008 知能）
竹内 敬典（院前 2009 知能）
丁　涛（院前 2009 知能）
趙　亮（院前 2009 知能）
竹岸 一彦（院前 2010 知能）
白　杉（院前 2010 知能）
吉川 武尚（院前 2010 知能）
石岡 敬浩（院前 2011 知能）
澤田 優貴（院前 2011 知能）
陳　峰（院前 2011 知能）
松永 悟行（院前 2011 知能）
温　遇卿（院前 2012 知能）
松本 一秀（院前 2012 知能）
遠藤 彰（院前 2013 知能）
高　源（院前 2013 知能）

内藤 千裕（院前 2013 知能）
長屋 竜治（院前 2013 知能）
青木 真人（院前 2014 知能）
劉　立強（院前 2014 知能）
呂　涛（院前 2014 知能）
後藤 浩詞（院前 2015 知能）
宋　勝杰（院前 2015 知能）
吉田 大樹（院前 2015 知能）
飯田 智丈（院前 2016 知能）
黒澤 進太郎（院前 2016 知能）
五藤 大輔（院前 2016 知能）
橋本 英明（院前 2016 知能）
山田 真司（院前 2016 知能）
吉田 啓二（院前 2016 知能）
髙野 梓（院前 2017 知能）
東海 真志（院前 2017 知能）
中濵 圭貴（院前 2017 知能）
森田 悠生（院前 2017 知能）
松田 隆祐（院前 2008 情報）
江守 崇（院前 2009 情報）
石野 優貴（院前 2010 情報）
市川 正貴（院前 2010 情報）
加藤 人士（院前 2011 情報）
野原 慎吾（院前 2011 情報）
松井 優（院前 2011 情報）
范　隽伟（院前 2012 情報）
山本 哲也（院前 2012 情報）
今江 龍太（院前 2013 情報）
尾﨑 大輔（院前 2013 情報）
金子 純一（院前 2013 情報）
柴垣 篤志（院前 2013 情報）
須田 康介（院前 2013 情報）
中谷 和也（院前 2013 情報）
今井 友紀（院前 2015 情報）
岩田 健志（院前 2015 情報）
岩松 竜也（院前 2015 情報）
打越 大成（院前 2015 情報）
尾田 邦彦（院前 2015 情報）
郭　艶嬌（院前 2015 情報）
河　冬馬（院前 2015 情報）
塩月 寿（院前 2015 情報）
刀祢 翔平（院前 2015 情報）
水島 大幸（院前 2015 情報）
水野 草太（院前 2015 情報）
森山 寛章（院前 2015 情報）
東　史記（院前 2016 情報）
大谷 崇士（院前 2016 情報）
久々湊 竜童（院前 2016 情報）
德重 理史（院前 2016 情報）
鍋谷 俊輔（院前 2016 情報）
福岡 涼平（院前 2016 情報）
山田 恵太（院前 2016 情報）
安宅 祐香（院前 2017 情報）
大村 知士（院前 2017 情報）
河井 純平（院前 2017 情報）
小牧 泰斗（院前 2017 情報）
坂井 篤司（院前 2017 情報）
作田 充（院前 2017 情報）
田開 孝祐（院前 2017 情報）
出町 治香（院前 2017 情報）
中澤 涼太（院前 2017 情報）
牧野 涼太（院前 2017 情報）

丸山 紘史（院前 2017 情報）
金　俊（院前 2015 環境）
庞　晨宇（院前 2015 環境）
田中 究（院前 2016 環境）
平井 泰貴（院前 2016 環境）
矢地 千奈津（院前 2016 環境）
小谷 正直（院後 1999 機械）
潘　裕柏（院後 1999 機械）
張　蓉生（院後 2001 機械）
見上 博（院後 2002 機械）
村井 勉（院後 2003 機械）
大坪 克俊（院後 2005 機械）
曹　宇光（院後 2006 機械）
矢澤 和明（院後 2006 機械）
福江 高志（院後 2012 機械）
木伏 理沙子（院後 2016 機械）
水本 和也（院後 2017 機械）
王　文生（院後 2000 電子）
張　帆（院後 2006 電子）
李　松松（院後 2006 電子）
大沢 登（院後 2002 生物）
宮永 賢（院後 2010 生物）
磯谷 健太郎（院後 2013 生物）
陶　娟（院後 2017 生物）
巌　康（院後 2009 知能）
坂井 雄一（院後 2009 知能）
王　芳芳（院後 2011 知能）
鈴木 伸哉（院後 2011 知能）
呂　軍華（院後 2011 知能）
菅原 保（論文 2000）
青木 功介（論文 2010）
漆野 奈穂子（論文 2010）
朝子 弘之（論文 2011）
石井 淳哉（論文 2011）
吉良 郁夫（論文 2011）
中山 勝之（論文 2012）
内橋 伸介（論文 2013）
安田 佳織（論文 2013）

※（　）内について

（短 6 環境）
短 … 卒業回 6 … 学科名 環境

- 大谷・・・大谷技術短大
- 技・・・・技術短大
- 短・・・・短期大学部
- 大・・・・工学部
- 院前・・・大学院前期
- 院後・・・大学院後期

お友達のお名前がありましたら住所をお知らせ下さい。

探しています！事務局までご連絡下さい！

平成17年に短大部（千瓢会）と工学部（工学部同窓会）の同窓会が合併して富山県立大学同窓会が生まれました。合併10周年を記念して「富山県立大学同窓会会員名簿（A４版 303P・平成27年８月15日）を発行しました。

名簿作成の途中で、不明会員の方が多く判明しました。今号でも「探しています」欄で不明会員を載せています。知り合いの方が見つかりましたら、事務局まで連絡して下さい。

大学ニュース

役職教員

- 理　　事　　長　　寺井　幹男
- 学　　長　　石塚　　勝　教授
- 副学長・工学部長　　森　　孝男　教授
- 学　生　部　長　　伊藤　伸哉　教授
- 入試･学生募集部長　　中島　範行　教授
- 工　　学　　部

教養教育主任教授	石森　勇次	教授
機械システム工学科主任教授	坂村　芳孝	教授
知能ロボット工学科主任教授	高木　　昇	教授
電子・情報工学科主任教授	唐山　英明	教授
環境･社会基盤工学科主任教授	渡辺　幸一	教授
生物工学科主任教授	加藤　康夫	教授
医薬品工学科主任教授	榊　　利之	教授

昇　　任

- 工　　学　　部

機械システム工学科	堀川　教世	教　授
	畠山　友行	准教授
	杉岡　健一	准教授
	遠藤　洋史	准教授
知能ロボット工学科	小柳　健一	教　授
	松本　公久	准教授
電子・情報工学科	西原　功	講　師
生物工学科	戸田　弘	講　師

新規採用

- 工　　学　　部

教養教育	大石　玄	准教授
	三本　啓輔	准教授
機械システム工学科	岡村　茂樹	准教授
	伊藤　勉	准教授
	棚橋　満	准教授
電子・情報工学科	吉河　武文	教　授
	畠山　哲夫	教　授
	大寺　康夫	教　授
	八尾　惇	助　教
	太田　守	助　教
環境・社会基盤工学科	内田　慎哉	准教授
	兵動　太一	講　師
生物工学科	深谷　圭介	助　教
医薬品工学科	長井　良憲	教　授
	大坂　一生	准教授
看護学部開設準備担当	越田美穂子	准教授

退　　職

＊平成 30 年 3 月 31 日をもって退職されました。
長い間お疲れ様でした。

川越　誠　先生
平成 2 年 4 月～平成 15 年 3 月　機械工学科助教授
平成 15 年 4 月～平成 30 年 3 月　機械工学科教授

前田　幸男　先生
平成 18 年 10 月～平成 30 年 3 月　知能工学科教授

松本　三千人　先生
平成 18 年 4 月～平成 30 年 3 月　情報工学科教授

松田　弘成　先生
平成 15 年 4 月～平成 19 年 3 月　情報工学科助教授
平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月　情報工学科准教授
平成 21 年 4 月～平成 30 年 3 月　情報工学科教授

安宅　彰隆　先生
昭和 59 年 4 月～平成元年 9 月　技術短大講師
平成元年 10 月～平成 2 年 3 月　技術短大助教授
平成 2 年 4 月～平成 19 年 3 月　情報工学科助教授
平成 19 年 4 月～平成 30 年 3 月　情報工学科准教授

原口　志津子　先生
平成 2 年 4 月～平成 4 年 9 月　教養教育講師
平成 4 年 10 月～平成 19 年 3 月　教養教育助教授
平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月　教養教育准教授
平成 20 年 4 月～平成 30 年 3 月　教養教育教授

同窓会日誌 No.16

この日誌は富山県立大学同窓会 炭谷優子事務局長の日誌です

2017 年 6 月 1 日
前任の荒木薫さんから事務局長を引き継ぐこととなりました。これから約 1 か月間で事務局の仕事を教わります。これまで、実行委員、千瓢の編集で同窓会に携わってきましたが、更なる重責を担うことになり身の引き締まる思いです。荒木さんは今後も理事として同窓会に携わってくださるので、引き続きご指導頂きながら、本会の要として大学の発展に努めたいと思います。

2017 年 7 月 11 日
29 年度同窓会会場、グランテラス富山の下見と打ち合わせを行いました。今年は足立原先生の講演会を行います。たくさん来てくださることを願い、これから各施設にチラシとポスターを配布してきます。

2017 年 8 月 12 日
29 年度同窓会当日。講演会で当時を思い出し、懇親会で青春時代を熱く語られる同窓生の姿が印象的でした。講演会、懇親会共に大盛況に終わり、ホッとしました。

2017 年 10 月 7 日
総会後、はじめての役員会を行いました。総会の収支報告及び反省、来年度の懇親会に向け話し合いました。その後、前事務局長 荒木薫さんの慰労会を行いました。荒木さん、お疲れ様でした。

2018 年 1 月 28 日
新棟新築工事の安全祈願祭と起工式が行われました。同窓会からは野開会長が玉串を奉納して工事の安全を祈願されました。現在、同窓会事務局があるこの旧校舎が 2 年後になくなってしまうのは少し寂しい気がします。

2018 年 4 月 28 日
30 年度同窓会の実行委員会が発足しました。実行委員を中心に、これから準備が始まります。今年も講演会・懇親会で大勢の会員に楽しんでいただきたいです。

私の好きなもの

山村　浩三（やまむら　こうぞう）

工学部 機械システム科　4 回生・1997 年卒

①車

18 歳で運転免許証を取得し、車を持ったのが 21 歳。行動範囲が一気に増えたことが嬉しかった。運転することがこの歳になっても飽きない。就職してから全国を車で旅行しながら、10 年間はモータースポーツのラリーに運転手として、現在はナビゲータで出場。車で未踏の地は沖縄と北海道だけとなった。その北海道は今年の夏に上陸予定で楽しみです。

②スクウォール（Skwal）

スキーとスノーボードの中間みたいなものです。

大学院生の時に大病にかかり、右足にやや障害が残ったためスキーを断念。しかし、たまたまスポーツ店で見かけて購入。滑走している姿がかっこよくて、15 年近くやっていますが理想とはかけ離れた格好で滑っています。教えてくれる人いないから奮闘中。ですがめっちゃ目立ちます。

③就寝

寝つきがかなり悪いので、なかなか寝られない。寝られるときはがっつり寝ておきたい。寝るのがもったいないという人もいるが、寝られることは幸せです。

《近況》

掲載されているころには、入社してから携わっていた事業部から配置転換しているはず。新たな仕事に携わります。この歳で覚えることは非常に大変ですが、人生いつでも勉強と思いやっていこうと思います。

松田（旧姓 金盛）九十九（まつだ　つくも）

短期大学部 農業土木専攻　4 回生・1995 年卒

①ドラえもん

純粋にドラえもんが好き。きっと僕は、ドラえもんにいろんな大切な事を教わり、夢と力を貰って大人になったんだと思う。そして、子供の時に読んだ秘密道具が実際に姿形は若干違うかもしれないけれど、ドラえもんの歌の様に現実になる。夢見る（創造する）力は、本当に凄いです。

②運動

身体を動かすのが好き。幼少に始めた柔道と、学生時代からのラグビーを継続するも、加齢と共に気持ちと身体のギャップが大きくなり近年は、お医者さんにお世話になる事が多くなったのが現状です。自分が何時までも選手として現役であり続けたい、という思いは有りますが、少しずつ退き、子供達と楽しむ事が主になっています。

③読書

ジャンルに関係なく雑読するのが好き。年々と本が増え、家では、「じゃま」と、言われますが、自分が大変な時期を終えて、歳を重ねおじいちゃんになった時に再読し、その時に見える頭の中の情景がどんなか、今から楽しみです。

《近況》

健康だけが取り柄でしたが、数年前に病気を経験した事で、今まで以上に生きている事に感謝。自分と出会ってくれる方々に感謝。今、この瞬間、一瞬一瞬に感謝・感動し、全力で人生を楽しんでいます。

土木・建築からまちづくりまで総合建設会社

MATSUBARA GROUP 松原建設株式会社

本　社 〒930-0892　富山市石坂 2449-2
TEL:076-433-8248 FAX:076-433-4515

荒木　龍憲（あらき　たつのり）

技術短大 草農業科　9 回生・1973 年卒

①庭造り

庭造りと言っても、草取り等手が廻りませんが、四季折々の花や実、新緑・紅葉が楽しみで、気が向くと樹木の手入れや通路にレンガ等を敷いたりします。知り合いに木を植え、苔を貼ったり自己流の庭造りを楽しんでいます。年齢と共に樹木が大きくなり、雪つり、剪定等が楽で、芽吹紅葉が楽しめる落葉樹中心の庭に変えつつあります。

②旅へ

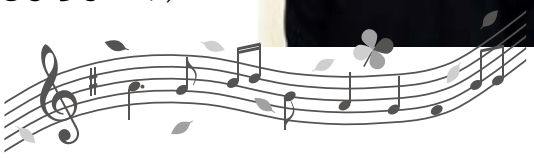
神社仏閣の庭や自然豊かな所を巡る旅に、離農した今、ぶらりと宿も決めずに自家用車で出かけるのが希望です。昨年７月に離農したばかりで、出かけられなかったのですが、今年から日本全国に、ぶらりと旅行を行います。（決意・思い）

③ライブへ

県立大の時から歌を口ずさむのが好きで、歌う会に入部していましたが、今も好きで近頃（離農してから）時々、呉東・呉西のライブ喫茶でコーヒー１杯飲みながら、口ずさみ、身体でリズムを取りながら、楽しんでいます。

《近況》

改造した納屋で、葉っぴ～カフェ tutti（1 階）、曼荼羅常設展示場及び多目的利用場（2 階）をしています。カフェは６名以上の予約で、県内野菜と経営移設した、家の前の葉っぴ～ farm の小松菜を必ず入れた食事を出しています。２階はイベント場として、ライブ等を開いています。今後は、ライブ等を少しずつ増やして、地域の人たちと一緒に楽しめる場所に成って行ったらと思います。年老いて運転免許証を返納したら、人々が来て楽しんで貰える様に、楽器を奏でる人、唄う人とも繋がりを持っていきたいと思います。その時は一緒に楽しみに来て下さい。（2F も自由に貸出可能ですが、1F のカフェも、１日シェフ等で貸し出しますよ～！）



広告掲載企業一覧

海王交通株式会社
北建コンサル株式会社
株式会社建成コンサルタント
株式会社国土開発センター
株式会社サカエグリーン
三協立山株式会社
株式会社上智
株式会社新日本コンサルタント
水機工業株式会社
竹沢建設株式会社
株式会社立山興産
中越興業株式会社
株式会社中部設計
株式会社寺島コンサルタント
株式会社東洋設計
砺波工業株式会社
富山県第一自動車学校
富山県農業協同組合中央会
株式会社婦中興業
松原建設株式会社
株式会社松村精型
丸高木材株式会社
山本理化

「感謝」の気持ちと「技術」で応える
感動 につながる 仕事 づくり
砺波工業株式会社
代表取締役社長　上 田 信 和
砺波市中央町3番21号　TEL(0763)32-3105
http://www.tonamikogyo.co.jp

総合建設業
株式会社　婦 中 興 業
代表取締役社長　竹 内 茂
〒939-2706　富山県富山市婦中町速星478番地
TEL（076）466-2333（代）　FAX（076）465-5392

株式会社　立 山 興 産
代表取締役　黒 川 浩 正
（農業機械科　第１回卒）
富山市堀川小泉町 845-13
電　話　（076）422−2236（代）
ＦＡＸ　（076）422−2509
業務内容 マンション賃貸業

株式会社 国土開発センター
測量・調査・設計・総合コンサルタント
■本　　社：石川県金沢市寺町３丁目９番４１号
☎076-247-5080
■富山支店：富山県富山市黒瀬１３番地３
☎076-420-9800

平成 28 年度春期／平成 29 年度夏期

ポートランド州立大学語学研修

報 告 書

電子・情報工学科　３年　中谷　俊介
知能デザイン工学科　３年　四津谷　瞭
博士前期課程 機械システム工学専攻
１年　水井　研登
（学年は当時）

キャリアを補うために

中谷　俊介
電子・情報工学科　３年

①留学の動機

私が今回留学しようと思ったのは、自分にとって必要なキャリアを補うために、留学が最も効果的だと判断したからです。具体的には、英語力、コミュニケーション力､自己表現力､積極性などです。きっかけは両親の勧めで、海外に行くことで得られるものの大きさを聞かされていたので、身になる経験ができると確信していたためです。留学する決心に至ったのは、大学の講義のキャリア形成論からでした。授業の一環で自己評価をした際に、漠然としていた自分に足りない部分が目に見える形で確認できたので、留学して克服できる部分が多いと確信したためです。

②成長したと思うこと

アメリカのホームステイ先では、生活をともにするホストファミリーと常に英語で会話しなければならなかったので、自分の意志を相手に伝える力が向上したように思います。また、空き時間や休日などにどこかに連れて行ってくれるようなホームステイ先ではなかったので、自分で積極的に予定立ててアメリカを満喫する姿勢を常に保つことで、行動力や実行力が身に付きました。

③学んだこと

留学では、ポートランドの大衆文化について学びました。ポートランドは、ビール、犬、自転車、タトゥーに非常に寛容という特徴があり、電車に自転車を持ち込めたり、飲食店に犬を連れ込めたりと、日本との大きな文化の違いを学びました。他には、ポートランドでは DIY (Do It Yourself) という考え方が盛んで、日曜大工は一般的だったり、購入者が自分で修理して使うという名目で壊れ物を販売するというような店があったりと、広くこの思想が浸透しているようすを実際に見て学んだりしました。

④心に残ったエピソード

授業の最後でする発表の題材に、私たちのグループはストリートミュージシャンを選んだため、何人かのストリートミュージシャンにインタビューをする機会がありました｡そのときの私は、ストリートミュージシャンに対して、お金のない危険な人というイメージを抱いていたのですが、実際に話をしてみると、人々を笑顔にしたり喜ばせたりすることを目的に活動する人や、プロとして音楽で食べていくことを目標にアピールしている人など、最初の私のイメージとは程遠い思想の持ち主ばかりだったことに衝撃を覚え、偏見的な考え方をこれからは改めようと学習しました。

⑤今後の抱負

今回の留学で上昇した英語力は、何もしなければ低下していくことは分かっているので、TOEIC で高得点をとるための糧とするために、英語の自主学習を本格的に始めます。

フィールドトリップにて先生と友達と、筆者は右端

―我々は創造する楽しみを持つことだ―
竹沢建設株式会社
代表取締役　竹　澤　由　之
本店　〒934-0056　富山県射水市寺塚原836番地3
TEL(0766)84-8888㈹　FAX(0766)84-8865

株式会社中部設計
代表取締役　中　瀬　壽
本社　〒930-0029　富山市本町10番2号
TEL 076-442-4161 FAX 076-441-3704

サブウェイというサンドイッチ屋さん

四津谷　瞭
知能デザイン工学科　３年

私は今年の冬、ポートランド州立大学に留学に行かせていただいた。このレポートは、そこでの経験や学んだことについて記したものである。

まず、留学での出来事は楽しいことばかりではなく、むしろ最初の一週間は日本に帰りたいとさえ思っていた。なぜなら、コミュニケーションがうまくできないからである。例えば、サブウェイというサンドイッチ屋さんで注文しようとしたときである。店員さんが何を言っているのか分からず、全然注文が進まず店員さんを怒らせたのである。他のお客さんもいらいらさせて、迷惑をかけたり、ホストファミリーと上手くコニュニケーションがとれず、約束を破ってしまい叱られたり、本当に辛く、自分の英語力の無さにただただ落ち込んだのである。

しかし、このようなつらいことが多く、悔しかったからこそ､必死になって聞き取れるように努力し、店での対応程度ならばできるように成長することができたとおもう。そして、その際気づいたこととして、文法の正しさを考えるより、取りあえず言ってみることが重要ということと、何を言っているのか確認することである。これをすることにより、言いたいことの勘違いを防ぐことができるし、文法が違ってもある程度察してくれることも多かった。またポートランドは親切で優しい人が本当に多かったので、いざとなれば、周囲に助け求めれば、助けてくれる人もいた。

この留学を通じて得たことは、英語力の向上だけではなかっただろう。むしろ英語力がついたことより、意思をはっきりと示す、自分から能動的に動くことが重要なのだと感じ、これからも自分から動いていけるようにしていきたいと思った。

シアトル日帰り旅行にて、筆者は後列左端 眼鏡

英語が喋れてあたりまえが、これからの常識

水井　研登
博士前期課程　機械システム工学専攻　１年

ポートランド州立大学語学研修での感想をご報告させていただきます。

オレゴン州ポートランドで２４日間の短期留学を行い、ホームステイをさせてもらいながら、ポートランド州立大学に通学をした。

ホームステイ先には二人の宿主と７人のルームメイトがおり､研究者､農場経営者､タトゥーアーティスト、ラッパー、写真家、作業員、など様々な職業の人が一つ屋根の下で共同生活をしていた。周りと違い、少し特殊なホームステイ先ではあったが今回そこに加わらせてもらうことになり短い期間ではあるが、非常に刺激的な経験をすることができた。

アメリカでは日本食は健康的であるとのイメージから日本食の店が非常に多く、また日本の留学経験がある人、旅行に行ったことがある人など日本に興味を持っている人も多く見られた。ホストファミリーも他国の文化に興味があるとのことで今までたくさんの留学生を迎えており、アメリカ人は他文化に興味がある人が多いと感じられた。

日本では英語を読む、書く、聞くことで学んでいくのが一般的だが実際に現地の人と会話して、たとえ文法がバラバラでも一生懸命言葉を伝えるのが一番英語の上達につながると今回の留学で思われた。

様々な国籍の人と接する機会があり、お互いの母国語は違うものの、英語という共通言語を用いて会話を行うことができた。英語は国境の壁を超えるものであると感じさせられ、世界中の人と会話をするためには英語さえ使えればほとんど会話できるとわかった。世界中の企業では会社内において英語が共通言語で使用されている所も多いことからも現在日本のどの企業でも英語が重要視されているのも納得がいった｡英語は喋れて当たり前であるというのが、今後の世界の常識になっていくと今回の留学で感じられ、より英語の勉強をしていく必要があると思った。

キャンパスで学生アシスタントと、筆者は右

この1年を振り返って

富山県立大学同窓会会長　野開 勝政

昨年８月12日に同窓会総会・足立原先生の講演会と懇親会を開催し、遠近より多数の会員の皆様にご出席頂き盛会裏に終え感謝申し上げます。

総会では役員改選時でもあったことから、私自身も後進に道を譲ろうと思い当たる人にお願いしていましたが願い叶わず、再度会長の大役を仰せつかることになりました。幸いにも現在の役員がそのまま全員留任して頂いたことから少し安堵しています。

役員並びに会員の皆様方のご協力・ご支援を頂きながら同窓会発展に微力を尽くして参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

さて、同窓会活動に関わるようになり早いもので４年が経とうとしていますが、ここで昨年の主な行事や私自身思ったこと等を紹介します。

４月６日：小杉文化ホールラポールにて石井知事ご臨席のもと厳粛に入学式が執り行われました。

５月11日：県大校歌制作委員会（第１回）が開催され学生、卒業生の一体感、母校への愛着と誇りを醸成するための校歌（学生歌）を制作することになった。この制作を「高原 兄氏」に依頼。歌に入れたいキーワード等を同窓会員にも募集。数回の委員会を経て昨年12月にデモテープの視聴。校歌完成まではもう少しかかりますが、お楽しみに。

６月中旬、同窓会事務局長の荒木薫氏から連絡があり家の事情で事務局を辞めさせて欲しいと言われました。総会を間近に控えもうびっくり。後任は機関誌「千瓢」の編集を手伝って頂いていた炭谷優子氏に了解を得ているとのことでした。総会まではお手伝いして頂き事なきを得、感謝！感謝！です。

８月12日：同窓会総会・講演会及び懇親会がグランテラス富山で開催。

懇親会前には足立原先生大いに語る「草刈り十字軍運動の軌跡」をご講演頂きました。私は一昨年、足立原先生と対談し先生の熱い情熱を肌で感じていたことから予定された講演時間をオーバーするのではと案じていましたが余計な心配に終わりました。会場には先生を慕う旧短大時代のおもに農業機械科、草農科等ＯＢの皆様並びにＯＢの先生方、首都圏で活動されている「エトワール会」の澤さんと高木さんのお二人にも参加を頂き大盛況な講演会・懇親会となりました。この紙面を借りまして改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

11月11日：エトワール会が横浜で開催され荒木顧問と須田副会長が出席されました。私も参加したかったのですが所用と重なり残念ながら出席叶いませんでした。本年も招待があれば是非参加させて頂きたいと思います。

年が明け、本年１月28日には新棟新築工事の安全祈願祭及び起工式が執り行われました。

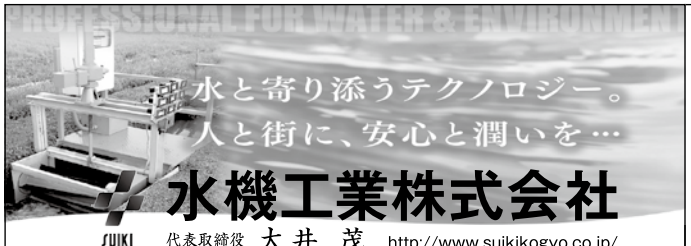
新校舎は９階建てで地場産であるアルミと銅の２色を組み合わせ、富山らしい外観を醸し出すそうです。知の拠点として、地域に貢献する魅力あるキャンパス整備が着々と進められております。新棟の完成は平成32年３月末だそうです。新たな母校の姿を皆様と楽しみに待ちたいと思います。同窓会としても新棟完成に合わせ何か協力したいと思いますので会員の皆さまのご意見をお寄せ下さい。

本校もこれまで以上に、より個性豊かな魅力ある大学、そして時代の変化と社会のニーズに応じた大学づくりが急速に進められています。

我々同窓会といたしましても、学生や大学当局からも期待される同窓会活動にしていきたいと考えていますので、皆様のご協力・ご支援よろしくお願いします。

総会　会長の挨拶

平成29年度　懇親会



水機工業株式会社
SUIKI　代表取締役　大井　茂　http://www.suikikogyo.co.jp/
本　　社／富山市黒崎172　TEL 076-491-2533㈹
小矢部営業所／小矢部市柳原748　TEL 0766-67-2858㈹

総合建設コンサルタント
株式会社 東洋設計
代表取締役　延命　正太郎
http://www.toyosk.co.jp/
本社：〒920-0016 石川県金沢市諸江町中丁212番地１
TEL (076)233-1124 (代)　FAX (076)233-2113
支社・支店：東京、千葉、埼玉、福井、富山、高山、中部、新潟

平成29年度　同窓会総会

平成29年度同窓会総会・懇親会報告

富山県立大学同窓会理事　宇於崎　秀夫
工学部　電子情報工学科１期生

平成２９年度　富山県立大学同窓会総会・懇親会は、８月１２日、ホテルグランテラス富山（旧名鉄トヤマホテル）に於いて、６７人の参加を得、本年も盛大に開催されました。

午後3時から行われました総会は、第1号議案から第5号議案まで全会一致で無事可決され、「今後益々同窓会が発展するよう活動を充実していかなければ」と、理事のひとりとして、思いを強く抱きました。

通常ならば総会の後はすぐ、懇親会に移るわけですが、本年度は趣向を凝らし、懇親会前の午後４時から「足立原先生大いに語る」と題して草刈り十字軍運動の創設者で本学の元教授　足立原貫先生の公開講演会を企画しました。本年は、同窓会の告知も兼ね、事前に公開講演の案内を新聞に掲載させて頂いたところ、当日は同窓生以外の一般の方も講演会への多数の参加があり、また、新聞各社から取材をして頂き、後日新聞記事として講演会の実施について掲載を頂き、「富山県立大学同窓会ここにあり」を示すことが出来、同窓会役員一同は大いに喜びました。

講演会での先生は、８７歳とは思えないほど元気で言葉には力があり、また、表情豊かにお話しをして頂きました。話をされる姿には、オーラがあり、ステージの上では大きく見えたのに、横に並ぶと小柄なことに驚かされました。草刈り十字軍の創成期である当時の富山県立大谷技術短期大学　農業機械科助教授時代の思い出話や当時の学生だった先輩方からの質問に丁寧にお答えを頂くなど講演会というより対談会のように大いに盛り上がりました。その中でも先生のお話しの中で特に印象に残っているのが、錫職人のお父様からの教えとして「道具の始末・作品の始末・身の始末を大事にしなさい」という言葉を大事にされているということでした。道具とは、文字どおり、自分の使う道具はいつもきちんと磨いたり整理したりして最良のものとしておくこと。作品とは、自分がした仕事が後世に残るものであるから完璧な仕事をすること、中途半端な作品は壊しなさいということ。身の始末とは、今流行りの終活ではなく、自分の仕事を継ぐ後輩をしっかり育てること。というような内容だったと記憶しています。どれも自分の身につまされる話で大変勉強になりました。

足立原先生講演会

講演会の後、午後5時からは懇親会、そして二次会へと会は続き、足立原先生や先生の教え子の農業機械科出身の先輩方や、関東で同窓会活動をして頂いています「エトワール会」の方々、富山県立大学　寺井理事長様、石塚学長様をはじめ大学の教職員の方々と、参加した同窓生による同窓会は盛会のうちに閉会しました。

今年も新入同窓生をはじめ、今まで参加頂いた方も、参加されたことの無い方も今後毎年参加頂き、より多くの方との交流の場として同窓会が大いに盛り上がり、大学の発展につながるよう役員一同準備を進めますのでお誘い合わせの上、ぜひとも参加頂きますようよろしくお願いします。同窓会でお待ちしています。

大いに盛り上がった同窓会懇親会の後、記念に全員で一枚。今年は一緒にいかがですか？

地元活性化に取り組む

「薪の音」オーナー 山本 誠一 さん

写真：「薪の音」城端店にてインタビューの様子

山本さんは技術短大農業機械科の1974年卒業生です。学生時代、大学祭の実行委員長として友達と一緒に夜遅くまでがんばったのが思い出される。クラブは軽音楽部で顧問の足立原先生にお世話になった。家が農家なので農家の仕事をしながら、就職したのは地元の城端町役場。山本さんの家は城端の野口地区にある。西側には立野ケ原台地、東側に山田川が流れこむ、山際と平地の境にあるのが野口地区。まとまりのある集落で山本さんが中心になり昭和63年に「農業組合法人野口営農組合」設立して、先駆的な取り組みが認められて「朝日農業賞」を平成元年に受賞している。

町役場に勤めながら地元野口地区の活性化に努めていた山本さんに転機が訪れたのは町村合併、今まで城端町役場では多くのことを任され課長という立場で自分のしたいこともやってきたが、合併した役場で、また一から人間関係を構築したりして、時間がかかり、自分のしたい仕事ができないと感じ、役場を辞めることにした。

そして平成17年6月から、始めたのがオーベルジュ「薪の音」、一日3組だけもてなす、里山フレンチのお店。周りからは、「なぜこんな田舎でやれるのか」等、あやぶむ意見が多かった。山本さんには成算があった。役所の仕事で第3セクターの宿泊施設の立ち上げに携わったり、多くの施設を見学したりして温めていた企画だった。特に湯布院「山荘･無量塔」の藤林晃司さんからは、多くの事を学ばせてもらった。

初めは苦戦が続いた、それを救ってくれたのが、地元のランチとディナーのお客さん。本格的なフレンチが近くになかったので喜ばれた。自家栽培米や新鮮な野菜を巧みに用いた里山フレンチやきめ細かいおもてなしが好評でリピーターが増えだした頃に、マスコミ取材が増え、里山で一日3組だけのお客さんをもてなす隠れ宿として紹介された。

「薪の音」のシェフがデザートとして開発した、地元の特産品「干柿」を活かした「ラム酒に漬けた干柿のアイス」が上品でまろやかな干柿の甘さとラム酒の香りとキャラメルアイスの味が絶妙で評判を呼び、「自宅でも食べたい」というお客様の声が寄せられた。その商品化にこぎ着け、早速、2013年11月に開催された「ジャパンフード2013」の「第1回地場もん国民大賞コンクール」に応募して、山本さん自身がキッチンカーで干柿アイスの魅力をコンクール会場で訴えた。手応えが有り全国518品の応募の中から銅賞を獲得して、多くの方から問い合わせがあり順調に売れ出した。

都会では味わえない里山の四季、桜、蛍、雪景色、地元の食材やきめ細かいサービス、近くの世界遺産「五箇山・白川村」、おわら踊り、金沢、能登等の強力な観光資源が相乗効果を現して「薪の音」の魅力が増し、フランスのグルメガイド本「ゴ･エ･ミヨ」ホスピタリティ賞を受賞、またミシュランガイド富山・石川版で紹介された、2013年プロが選ぶホテル・旅館100選「日本の小宿」部門の審査員特別賞受賞。

「薪の音」で一泊したお客さんの、次の日の観光地は金沢が多く、金沢の魅力に圧倒される。金沢での事業展開を考えた、山本さんは、金沢らしい東山に「薪の音金澤」を3年ほど前にオープン。今年3月に敷地内に和食の「東山和今」をオープンして、「東山のオーベルジュ薪の音金澤」としてリニューアルオープンさせた。また石川・富山・福井の魅力的な商品を扱うギャラリーショップ「東山エッジ」の運営にも参加している。

城端と金沢の「薪の音」ができ、山本さんは連泊を薦めている。一日目は城端で泊まり世界遺産の五箇山･白川郷を楽しんでもらい、二泊目は金沢で泊まってもらい金沢らしさを満喫してもらう。また「お任せ案内」を薦めている、金沢駅に迎えに行き、お迎えからお帰りまでの全ての宿泊や観光をお任せしてもらい満足して帰ってもらう企画で、今、案を練っている。

今後の方向付けとして、山本さんの頭の中にあるのは、外国の旅行者の受け入れで、今までは外国旅行者は大都会に関心があったが、地方都市も見直されていて、その中に金沢がある。これからはスタッフの養成もあるが外国の旅行者の受け入れを増やしたいと考えている。外国旅行者は土日に関係なく宿泊予約が入る。日本人旅行者は圧倒的に土日が多いので、外国の旅行者の予約で一週間コンスタントな予約になり、安定すると思える。

山本さんは「薪の音」のオーナーとして活躍しているが、元々は地元、野口地区の活性化が目的だった。野口地区を中心にした地域を「田舎楽園」としてブランド化して「都市住民との交流」を通して地元の農産物や森林資源などを見直して活性化につなげようとしている。その一環として「薪の音」があり、地元産「干柿」の商品化がある。

（池上勁）

※オーベルジュ（フランス語、主に郊外や地方にある宿泊施設を備えたレストラン）

干し柿DVDブックの制作

-干し柿の文化と生産技術の可視化-

林 節男(元 富山県立大学短大部)

1973年に技術短大の農業機械科の助手と採用され、2013年に退職しました。実に40年間も本学にお世話になり、今も卒業生のお世話になりながら、これまでの仕事の整理と発信（展示会、出版、シンポジウム開催など）を行っているつもりです。

今回、同窓会事務局の炭谷優子さんにも大変お世話になりながら、制作に努めている干し柿ＤＶＤブックを紹介させて頂きます。先に美味技術学会の選書として,「美味な干し柿生産とその事例」を発行することができました。今回、さらに多くの方に親しみやすく、ＤＶＤで紹介するために、ナレーションにラジオ番組パーソナリティー，挿し絵にイラストレーター，ビデオ制作に炭谷さん，BGMにシンセサイザー奏者からの協働も得ています。

DVDブックの構成は、これまで訪問した干し柿産地の調査に基づいて①富山干柿の生産技術の継承 ②国内の主要な干し柿生産地の探訪 ③3か国（台湾，韓国，中国）の干し柿生産地の探訪 ④2016干し柿シンポジウムの4部構成としています。干し柿シンポジウムでは、富山干し柿を活用したオリジナル商品を開発した前ページでも紹介の同窓生、山本誠一さん（薪の音･代表）にも講演して頂きました。「フーテンの寅さん」で有名な映画監督の山田洋次さんは、「日本の各地で、撮りたい風景が急速に失われている」と述懐されています。干し柿生産でも、挿絵のようなのどかな風景が失われています。

今回のDVD制作で、農村の良き景観を少しでも、未来に伝えたいと思います。山梨県では勝沼のブドウ園と甲州干し柿の景観をセットに「世界農業遺産登録」を目指しています。

プレゼント 10名様

読者の方10名に、
里山のオーベルジュ『薪の音』オリジナル
「ラム酒に漬けた干柿のアイス」×2個
「青梅と大吟醸のシャーベット」×2個
「赤ワインで煮たずいきとこだわりショコラ」×2個

３種類の贅沢な大人のアイス、計６個の詰め合わせをプレゼント。「アイス」希望と書いてはがきかメールで申し込んで下さい。

応募先
〒939－0398　富山県射水市黒河5180
富山県立大学同窓会　「千瓢」編集部
Email：senpyokai@pu-toyama.ac.jp

― 前号プレゼント当選者発表 ―

「県大セット」

位寄　史好さん
北林　恒好さん
武藤　玲子さん

当選おめでとうございます。

富山県公安委員会指定
富山県
第一自動車学校
〒939-0274
射水市小島715 TEL0766-52-0722
http://www3.canet.jp/users/td1

3冊の本

祖父の夢を追って

中　哲裕（なかば　てつゆう）
名誉教授、教養教育、2011年3月退職

満70歳になって、英文学者だった祖父の夢を追いかけている自分に気がつく。

祖父は大正の末から昭和にかけての2年間、ロンドン大学に留学した。漱石の留学から25年ほど後である。帰朝後、京都の私立大学英文学科の主任教授を勤めた。

1 DANTE'S VISION（神曲）FRANCIS CARY（英訳）GUSTAVE DORÉ（挿画）

英国留学のお土産の大型本である。座敷の書院に置かれていて、子どもの頃にこの本を開いて、ドレの銅版画を見るのは楽しかった。

大学に入って西洋古典学の前田護郎先生に、「「天国篇」はつまらないと言う人が多いけれど、「地獄篇」・「煉獄篇」と読み進めれば「天国篇」の素晴らしさが分かります」と勧められ、『神曲』を読んだ。もちろん日本語訳である。

教養教育の読書案内冊子 VIRGINIBUS PUERISQUE（若き人々のために）に、ドレの挿絵を数葉入れて頂いた。

2 THE SKETCH BOOK　W.IRVING 著（研究社小英文学叢書）

中学・高校の6年間、祖父に英語を教えられた。19世紀ロマン主義文学の本がテキストだった。アーヴィングの『スケッチブック』は高校2年の4月から7月まで、4ヶ月かけて読んでいる。1ページに分からない単語が30余りもあって、苦労した。

勉強はしんどかったけれど、祖父の若い頃の話は面白かった。祖父とともに過ごしたあの頃は、人生で一番夢の多い、充実した日々であったと思う。VIRGINIBUS PUERISQUE（R.L.STEVENSON 著、小英文学叢書）もこの頃に祖父の指導で読んだ本である。

祖父は大正リベラリズムの時代を生きた。旧制四高時代から西田幾多郎先生の弟子であり、おつき合いは先生が亡くなるまで続いた。ひと頃久松真一先生と下宿が一緒の時もあり、所謂（いわゆる）京都学派の周辺にいた。リベラルとは、権力からも反権力からも自立しているということであり、その基礎にあるのは読書と思索により培われた豊かな教養であると教えられた。反権力は反権力であって、リベラルではない。

3 THE RETURN OF THE NATIVE by THOMAS HARDY 1917刊 NEW YORK。

亡くなる数年前にハーディの本を10冊前後、形見として譲り受けた。『帰郷』の中に、スコットランドのヒースの丘で採取した草花の紙袋が挿まれていた。

昨（2017）年12月、早稲田の大島一彦さんがPRIDE AND PREJUDICEを翻訳して贈って下さった（『高慢と偏見』、中公文庫）。大島さんの訳本は研究社英文学叢書の原文とつき合わせながら読ませていただいた。200年前の洋書であっても、名訳があれば読めるんだと思った。

私は既に人生の終活に入っている。国文学の徒ではあるが、生きている間にTHE RETURN OF THE NATIVEを読み、やはり祖父が立ったヒースの丘に立ち、祖父とともに見ていた夢をもう一度見たいと思う。　　合掌

＊＊＊

柞山　明（ほうさやま あきら）

富山県立技術短期大学草農業科（12回生）

ビル・ゲーツ氏がマイクロソフトを、また、スティーブン・ジョブズ氏がAppleを設立して間もない1980年にこの本は書かれました。アメリカの評論家で作家、未来学者でもあるアルビン・トフラー氏（1928年～2016年）の著書**「第三の波」**がそれです。氏は、人類はいま新しい創造の時代に向っており、第一の波である農耕社会、大量生産や産業社会という言葉に代表される第二の波、そしてこれを越えて津波の如く私たちの暮らしや社会に押し寄せる「第三の波」。この波が私たちの生活から政治・経済構造の全てを激変させると説いています。今日の情報化社会の到来を予言したと言われる本著から受けた得体のしれない心の騒めきを今も覚えています。

2冊目は、足立原貫先生の**「やる者がやるときに**（1976年）**」**です。昭和52年、富山県青年議会に参

加して仲間と「農業問題」に取り組みましたが、研修会にお呼びした先生から「君たちは『やらせる側』の発想だから自分の青写真通りにいかないことを『問題』などと言っている。農業を自らやる者に農業問題など存在しない。」と一刀両断。本著で「農業に興味を持った人が農業を営むことができることが大切」と説かれた先生のお考えは、まさに「やる者がやる農業」を説かれたのであり、先生は、今は当たり前に使われている「担い手」という言葉を当時からお使いになっておられました。

3冊目は、本県の植物学の礎をおつくりになった進野久五郎先生の**「富山の植物」**です。本著は富山の植物を愛好する人々にとってのバイブルとも言える一冊。私たちを担任された折谷隆志教授のご配慮で、進野先生と植生調査に御一緒できたことは至極の思い出です。先生は本著の巻頭言で「風土と

の関係からみた富山県の植物を中心に、四季おりおりの身近な草木の生態を述べた。」とあるように、人々の暮らしと植物の生態について、極めて深い洞察と郷土愛に満ちた論旨を展開しておいでになります。

〈近況〉

職場時代の先輩や後輩と山登りを続けています。昨年は久しぶりに剱岳に登りました。県外勤務を終えて地元に帰ると様々な地域の仕事が待っていて忙しくしていますが、農事組合法人の立ち上げや農協役員などに各著から示唆いただいた「先見性」と「郷土愛」、そして「やる者」の意気込みで頑張っています。

前剱山頂・左が柞山さん

* *

松浦　芳美（まつうら よしみ）

技 13 応用数学　S51卒

私は月に２，３冊のペースで読み、読後は作者と題名をメモしておく。が、しばらくするとそれを見ても、内容が思い出せないのが大半。その時は、面白いと思ったはずなのにである。なさけない。私の好きなジャンルは、ミステリー、とくに医療もの。

１冊目は、久坂部羊（くさかべ　よう）の**「無痛」**先天的に痛みを感じない青年が、悪い医者に薬を飲まされ、残虐な殺人を犯す。刑法 39 条がからむ。患者の外見で病気の診断ができる医師、刑法 39 条にこだわる刑事、心神喪失を装い、罪を逃れたい性格がねじまがった男、まじめで美人の臨床心理士などが登場。作者は作家活動をはじめたころ、文芸誌に応募して「こんなに面白い題材でよくこんなにつまらない小説が書けるものだ」と批評されたとか。では、いつのまにこんなに面白い小説が書けるようになったのだろうか。作者は、外科医で男性。作家が気に入ると、そのバックボーンも知りたくなる。

２冊目は、深木章子（みき　あきこ）の**「猫には推理がよく似合う」**最近の猫ブームにのっかった、チャラい本ではまったくない。作者は６０歳から書き始めた元弁護士。弁護士事務所が舞台で、その経歴がいきている。依頼人狂騒曲。筋書きが、推理、現実、妄想と入り組んでいて、最後の最後まで気がぬけない。「えー訳わかんない」みたいな。最後に登場する弁護士が、あらゆる可能性を検証し、否定し、真実をさぐる。これは、本格ミステリーというらしい。

３冊目は、青山文平の**「つまをめとらば」**作者は太平の世、江戸中期にこだわる時代小説を書く。嫁運が悪い、女に翻弄される男の物語。作者は、女は強いという。そうだろうか。

時代小説はあまり読まないのだが、図書館で、並んでいるのを全部借りてきた。こういう全部読んでみたいと思う作家に巡り合うのは、幸せなことだ。

以上、読書感想文でもなく、雑感？３冊の羅列になりました。

〈近況〉

近い将来消滅が予想されるへき地（つれあいの出身地）に住み始めて、はや７年。冬は積雪２～３ｍがあたりまえ、春は山菜採り放題、夏は虫だらけ、秋は実りと四季のメリハリが効いている。今は第二の人生か、はたまた老後か？

声

◆匿名（農業機械科卒）

足立原先生は、私の恩師です。東大の農学部で一週間実習生として足立原先生と行った事、懐かしいです。私は農業機械科卒ですが、今、再度看護学校へ行き、もう１４年看護師として働いています。看護科ができるということで、嬉しくおもいます。

◆松永　隆司

毎号、楽しみに拝見しておりますが、時を重ねるたびに時代の移り変わりを感じる今日この頃です。今昔を交え、先生方や卒業生の皆様、そして学校の近況が感じられる記事をこれからもよろしくお願いいたします。

◆早川　俊一（大谷１草農　S40卒）

千瓢 12 号の「私の好きなもの」で磯部貴弘さんが小学生から始めたバトミントンを 30 年間続けて、週２回コーチをされているとは、良いことだと感心しました。体育の先生なら当たり前と思いますが、職業以外のことをずっと続けている人を見ると偉いなあと思います。自分も一生続けられることは何かと考えさせられました。磯部さん健康に留意して頑張って下さい。

◆谷村　実（大谷３機械　S41卒）

千瓢 12 号「ポートランド州立大学語学研修」を興味深く読ませてもらいました。折しも不二越会長が富山県人の閉鎖性を理由に差別的と思われる採用方針を発表して、残念に思っていました。そうした中で３名の３週間は、異文化のなかへ飛び込んでの期待と戸惑い、成長そしてグローバルな視野という、学びもあり、これからの進路を決める得がたい経験になったものと思われます。

◆藤田　綾香

『千瓢』拝読させて頂きました！今の県大のことが分かってうれしかったです。

◆北林　恒好（大谷４草農　S43卒）

「３冊の本」の内容はわかりやすく今後も継続していただきたい。

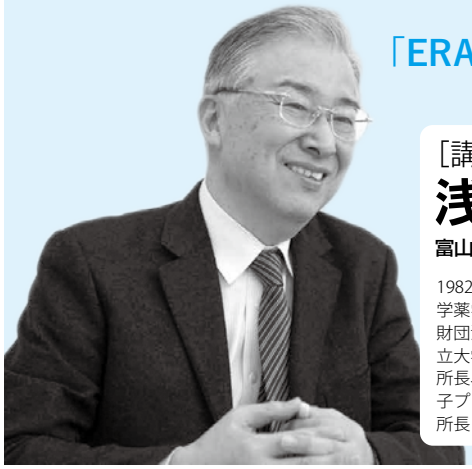
◆江尻　康浩（院前 2009 機械）

「千瓢」第 12 号の送付ありがとうございました。卒業後、大学の近況情報を得る機会が減りがちな中、「千瓢」は貴重な情報源となっています。今後も楽しみにしております。

公開講演会

未知の酵素を表舞台へ

「ERATO浅野酵素活性分子プロジェクト」で最近得られた成果



［講師］

浅野 泰久（あさの やすひさ）

富山県立大学工学部生物工学科教授／生物工学研究センター所長

1982年京都大学大学院農学研究科博士課程修了。同年米国・パデュー大学薬学部博士研究員、米国・オハイオ州立大学理学部博士研究員。84年財団法人相模中央化学研究所研究員、87年同副主任研究員。90年富山県立大学工学部助教授、95年同教授。2007～11年同生物工学研究センター所長、11年同大学附属図書館長（兼任）。11年よりERATO浅野酵素活性分子プロジェクト研究総括。11年紫綬褒章受章。18年生物工学研究センター所長（再任）。

2018
8月12日（日）
16:00 ～ 17:00
ホテルグランテラス富山
入場無料 一般公開

平成30年度同窓会総会のお知らせ

日　時

平成３０年８月１２日（日）
15：00 ～ 15：30　総　会
16：00 ～ 17：00　講演会
17：30 ～ 19：00　懇親会

会　場

グランテラス富山（旧名鉄トヤマホテル）
富山県富山市桜橋通り２－２８
電話　０７６－４３１－２２１１

懇親会参加費

６，０００円　当日会場にてお納め下さい。
尚、懇親会には酒類もご用意しております。飲酒運転となりますので、お車でのご来場はご遠慮下さい。

連絡先

富山県立大学同窓会事務局　炭谷 優子
〒939－0398
富山県射水市黒河5180
ＴＥＬ　0766－56－7500（内線130）
ＦＡＸ　0766－56－0396
E-mail　senpyokai@pu-toyama.ac.jp
ホームページ　http://tpu-dosokai.jp/

出席される方は７月１０日（火）までにご連絡ください。同封のはがき、またはホームページからもお申し込みいただけます。

同窓会の情報はホームページとFacebookからも配信しております。是非ご覧ください。ご意見、ご要望もお待ちしております。

富山県立大学同窓会 公式WEBサイト　公式ホームページ http://tpu-dosokai.jp/

Facebook 公式ページ fb.me/tpu.dosokai で検索！

編集後記

▼平成29年度の同窓会総会の記念講演は「足立原先生大いに語る」でした。農業機械科卒業生の方を中心に多くの参加があり盛況でした。
▼大学が様変わりします。先ず外観、42メートルの高さの新校舎。定員も多くなり、学科も増えます。もう工事に入っています、短大時代の卒業生に取っては、学校の面影がほとんどなくなると思われます。大学の近くに起こしの節は、大学に立ち寄ってみて下さい。まだ面影が残っているかも知れません。（同窓会の事務局を訪ねるのも良いかも知れません）
▼城端で「一日３組のお客様をもてなすオーベルジュ『薪の音』」のオーナー山本誠一さんにお話を伺った。「薪の音」の名前の由来は、山本さん本人がつくっているコシヒカリを薪で焚いておいしく食べてもらいたいためと、薪ストーブの薪の音に心が癒やされるので命名したとのこと。
▼今号にも、アンケートはがきを同封しました。お便りをお待ちしています。では次号まで。

（池上　勁）